

令和 5 年度 事業報告

• 法人本部	1
• 障害者支援施設航	7
• 金沢地域活動ホームりんごの森	17
• 地域支援センター	35
• 横浜市釜利谷地域ケアプラザ	44
• 横浜市柳町地域ケアプラザ	59

令和5年度 法人本部 事業報告

概説

令和5年度は、法人事務局が担う複雑で広範囲に渡る業務を総務・事業企画・人材育成の3部門に再編して、各事業所との連携を進めながら着実に各事業を推進しました。

また、全ての法人職員が人権尊重を踏まえて適切に仕事をするために新設の独立した組織「人権啓発推進委員会」も始動しました。

「すみなす会長期計画」は令和5年度からスタートしましたが、整備の急がれる事業継続計画（BCP）の策定の検討を重ね、また法人職員の安否確認システムの導入や無線による通信訓練の実施をしました。今後も災害時のライフラインの確保等の取り組みを進めます。

また、かねてより深刻な経営課題となっていた「認知症対応型通所介護事業やまゆり」については、令和6年1月末に閉鎖しました。

もう一つの経営課題である釜利谷地域ケアプラザのデイサービスについては、「やまゆり」から移行した利用者と新規利用者の増により、少し経営改善の兆しが見られるものの、引き続き実効性のある経営改善が図れるよう有効な施策を検討してまいります。

令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、館内におけるマスク着用のほか、感染防止対策を継続させながら、4年ぶりに「すみなすフェスタ」やりんごの森や柳町地域ケアプラザの「感謝祭」を開催し、改めて地域社会との交流を復活することが出来ました。

1 理事会・評議員会等の開催（継続）

（1）理事会

回	開催日	議 題
第1回	令和5年 6月2日	(1)決議事項 第1号議案 令和4年度事業報告及び計算書類等の承認（案） 第2号議案 令和5年度第一次補正予算（案） 第3号議案 規程の改正（案） 第4号議案 理事、監事候補者の推薦（案） 第5号議案 顧問候補者の推薦（案） 第6号議案 定時評議員会の招集（案） (2)報告事項 1 理事長及び常務理事の職務執行状況報告について 2 令和4年度社会福祉法人指導監査の結果について 3 評議員選任の報告

第2回	6月23日	<決議の省略> 社会福祉法人すみなす会理事長及び常務理事の選定（案）
第3回	11月30日	(1)決議事項 第1号議案 令和5年度上半期事業報告（案） 第2号議案 認知症対応型通所介護「やまゆり」の閉鎖について（案）
第4回	令和6年 1月23日	<決議の省略> 第1号議案 監事の退任および後任監事候補者の推薦（案） 第2号議案 評議員選任・解任委員の退任および後任委員の選任（案） 第3号議案 常務理事の退任（案） 第4号議案 理事の退任および後任理事候補者の推薦（案） 第5号議案 定款変更（案） 第6号議案 令和5年度 第2回評議員会の開催（案）
第5回	3月28日	(1)決議事項 第1号議案 令和5年度 第二次補正予算（案） 第2号議案 令和6年度 事業計画（案） 第3号議案 令和6年度 予算（案） 第4号議案 諸規定の改正（案） ・事務分掌規程 ・経理規程 ・事務決裁規程 ・給与規定 ・嘱託職員就業規則 ・非常勤職員就業規則 ・登録ヘルパー就業規則 第5号議案 役員賠償責任保険の契約について（案） (2)報告事項 令和6年能登半島地震義援金の支出について

（2）評議員会〔定時評議員会〕

回	開催日	議 題
第1回	令和5年 6月23日	(1)報告事項 令和4年度 事業報告 (2)決議事項 第1号議案 令和4年度計算書類及び財産目録の承認（案） 第2号議案 理事及び監事の選任（案） 第3号議案 顧問の選任（案）
第2回	令和6年 1月29日	<決議の省略> 第1号議案 監事の退任および後任監事の選任（案） 第2号議案 理事の退任および後任理事の選任（案） 第3号議案 定款変更（案）

2 すみなす会長期計画の推進（継続）

「すみなす会長期計画」について、全職員に配布し計 7 回の説明会を実施しました。

この職員説明会を踏まえ、各事業所において着実に長期計画が進められるよう、改めて各事業所および法人事務局は直近の 3 か年計画を作成しました。法人全体で取り組む内容を具体的に整理するとともに、災害対策など優先事項課題については重点的に取り組みました。

① 危機管理の取り組み

大規模自然災害が発生した場合に備え、職員間の連絡体制や参集基準並びに法人全体での事業継続計画（BCP）内容について事業所と基準の整理等を重ねました。また中堅職員を中心としたプロジェクトでは、通信方法の実地訓練や非常用トイレの確保と使用方法の訓練等、1 つずつ丁寧に実地訓練を行いました。訓練等の振り返りから不足している対策について次年度の課題として引き続き検討を続けています。

② 人材育成の強化

管理等職員の資質向上に資するため、法人課長補佐以上の職員を対象に加藤理事や上甲会計事務所所長に講師を依頼し、経営部門及び財務部門のスキルアップ研修を実施しました。法人のこれからを担う職員がポジティブな影響を受け視野を広げながら、改めて業務に向き合うことができました。

【階層別研修】

研 修 名	研 修 内 容 / 講 師
（採用時） 新任職員研修	・法人の概要、組織活動で大切な事 ・接遇マナー研修（外部講師）
（中途採用職員） 新任職員研修	法人の概要、組織活動で大切な事
管理職・課長補佐経営研修	「私のささやかな経験談」 講師：加藤邦紘氏
管理職・課長補佐財務研修	「財務会計の基礎 計算書類を読み取り組織の現状を理解する」 講師：上甲会計事務所 上甲雅敬氏
中堅職員研修（集合研修）	「アサーティブ・コミュニケーション」 （株）エイデル研究所 川崎 理代氏
副主任研修（Zoom 研修）	「チームビルディング」 （株）エイデル研究所 増田 直哉氏
主任研修	「スーパービジョン」 （株）エイデル研究所 増田 直哉氏

新任職員フォロー研修	「これまでを振り返りこれからを語ろう」＜法人事務局＞
新任職員フォロー研修	「2年目職員として求められること」 ＜法人事務局＞

【オンライン研修】

- ・障害福祉分野「サポーターズカレッジ」のアクセス数合計：500回
- ・高齢福祉分野「お茶の水ケアサービス」のアクセス数合計：84回

3 人権啓発推進委員会の取り組み

合計6回の委員会を開催したほか、「人権意識に関する職員アンケート」調査を行いました。令和5年度の職員研修は人権侵害を起こさないために“無意識の偏見（アンコンシャスバイアス）”について考える全職員を対象とした研修を開催しました。併せて課長補佐以上の役職員を対象にしたハラスメント防止研修を実施しました。

若手職員で組織した「My 人権宣言検討会」は合計5回の検討会をグループワーク中心に実施し、職員の人権に関わる行動の規範「すみなす会人権宣言」を策定しました。

4 令和5年度 職員状況

	事業所名	年度当初	中途 採用者	異動		退職者	年度末
				転入	転出		
常勤職員数・嘱託職員数	法人事務局	8	2	0	0	1	9
	航	55	0	1	0	3	53
	りんごの森	39	1	0	0	3	37
	地域支援センター	30	0	1	0	0	31
	釜利谷地域ケアプラザ	16	1	1	1	2	15
	柳町地域ケアプラザ	15	0	0	0	1	14
	小計	163	4	3	1	10	159
非常勤職員数	法人事務局	1	0	0	0	0	1
	航	63	5	1	0	11	58
	りんごの森	56	10	2	1	14	53
	地域支援センター	63	14	1	0	9	69
	釜利谷地域ケアプラザ	54	5	0	5	14	40
	柳町地域ケアプラザ	45	8	0	0	8	45
	小計	282	42	4	6	56	266
法人職員数		445	46	7	7	66	425

*常勤・嘱託職員数の年度当初数 : 163 名には、4 月 1 日採用者 (5 名) 含む

*常勤・嘱託職員数の退職者数 : 10 名には、3 月 31 日退職者 (3 名) 含む

*非常勤職員数の退職者数 : 56 名には、3 月 31 日契約満了者 (15 名) 含む

※年度末の職員数が年度当初より 20 名減少しているのは、認知症対応型通所介護事業「やまゆり」閉鎖により 10 名の退職があったことによります。

<すみなすフェスタ等の開催>

9月9日(土)りんごの森感謝祭、10月1日(日)すみなすフェスタを開催しました。
それぞれ500名を超える来場者があり、11月23日(木祝)には柳町地域ケアプラザふれあい感謝祭を開催し150名の来場者がありました。4年ぶりとなりましたが地域の方が交流の機会を楽しんでいました。

すみなす会人権宣言

令和6年3月

1 人権の尊重

私たちは、すべての人がその人らしく生きられる、差別のない社会を目指します。

2 個人の尊重

私たちは、利用される方々の意思決定を大切にし、その権利を擁護するとともに、個人を尊重した支援を行います。

3 サービスの質の向上

私たちは、職員としての誇りと自覚を持ち、研鑽に努め、良質かつ適切なサービスを提供します。

4 地域社会への貢献

私たちは、地域との繋がりを大切にし、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりに貢献します。

5 職場環境の充実

私たちは、お互いを認め合い、信頼し、支え合うことで、個人の能力を発揮できる環境を作ります。

6 法令遵守

私たちは、法令・規則を遵守し、社会的ルールを守り行動します。

令和5年度 My 人権宣言検討会

令和5年度 航 事業報告

概説

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられたことで、施設入所支援においては、小グループの一泊旅行や近隣への外出余暇支援を実施したほか、ご家族とのユニット懇談会や生活介護懇談会を再開することが出来ました。

また、利用者が航からグループホームへ地域移行したことや、入所利用者がご逝去したことから、入所調整会議を開催し、新規の施設入所利用者2名を決定しました。

日中活動支援では、日帰りの小旅行や地域での行事へ参加したほか、「手織り工房コパン」が初めて敷地内で「さをり市」を開催し、地域から多くの皆さんが来場して大きな関心を集めることも出来ました。

また、新年度に開設予定の新規事業所の作業内容を検討するため、プロジェクトチームを設置し、高齢化等でこれまでの作業が難しくなっている利用者や、環境に配慮した作業等について検討を行いました。

その他の各事業については、概ね順調に推進することができました。

「航」は、金沢区で唯一の障害者支援施設として、地域で暮らす障害のある人とそのご家族から、親亡きあとも、安心して利用者中心の生活が継続されると信頼していただけるよう、今後もいっそう努力してまいります。

事業概要

令和6年3月31日現在

	事業名	定員数（人）	現員数（人）
国事業	施設入所支援事業	50	47
国事業	生活介護事業	60	75（注1）
国事業	生活介護事業（コパン）	20	22（注2）
国事業	短期入所事業	4	4
横浜市事業	日中一時支援事業	若干名	若干名

（注1）生活介護事業の定員は60人ですが、契約利用者数は75人。週に2日程度の利用等もあり、1日平均66.4人となっています。

・契約利用者75人の内訳は、①施設入所利用者が39人、②グループホーム利用者が21人、③在宅の利用者が15人。

（注2）利用者22名の内訳は、①施設入所利用者が8人、②グループホーム利用者が11人、③在宅の利用者が3人。

(1) 施設入所支援事業(ユニット)

() は前年度

年齢階層 (歳)	利用者(人)	肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分		
	総数				区分6	区分5	区分4
総数	47	7	21	13	36 (35)	11 (10)	0 (1)
平均 年齢	44.6 歳				77% (76%)	23% (22%)	0% (2%)

※障害の状態は最重度の区分(6と5)の利用者が全体で100%となっており、知的障害に加え、肢体不自由(15%)、自閉症(45%)、発作(28%)等の合併症があります。

(2) 生活介護事業(日中活動)

() は前年度

年齢階層	利用者(人)	肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分			
	総数				区分6	区分5	区分4	区分3
総数	97	10	41	23	75 (76)	17 (14)	4 (4)	1 (1)
平均 年齢	44.1.歳				77% (80%)	18% (15%)	4% (4%)	1% (1%)

※障害の状態は最重度(区分6と5)の利用者が全体で95%を占めており、知的障害に加え、肢体不自由(10%)、自閉症(42%)、発作(24%)等の合併症があります。

1 重点項目の実施状況

(1) 新規日中支援事業所の開設及び活動班の改編(新規)

日中活動の利用者増加に伴い活動場所が狭隘化しており、利用者間が密接していることから生じる事故の防止と新規に利用者の受け入れを進めるため、新たに20名定員の日中事業所を令和6年4月の開設を目指し、検討を進めました。また、利用者の重度化や加齢等による変化にあわせた活動内容の見直しを行い活動班の改編を行いました。その他、令和7年度開設を目指した新規事業所の分室の検討も行いました。

(2) 地域移行の推進(新規)

航入所者の地域移行を更に進めていくためには職員が利用者の地域移行後の生活を正確に理解しておく必要があることから、今年度は課長補佐、主任職員がグループホームの生活を体験する実習を行いました。実習をしたことで、施設入所されていた時に見られていた利用者間のトラブルがグループホームの少人数で関係性の良い利用者同士の環境の中での安心した生活を具体的にイメージ出来るようになりました。この経験を活かし、利用者個々の将来の生活展望を見据えた個別支援計画の作成を進めています。

（３）意思決定支援の推進（継続）

①外部講師を招き自閉症スペクトラムを有する方への支援力を高める研修を実施しました。

また、部署ごとで意思決定支援について、利用者の望む環境や不得意な事柄等に対する個別事例を基にした取り組みと共有を進めました。今後は更に国が示す意思決定支援ガイドラインに基づくアセスメントシートを活用していくことで、更に利用者の生活や活動における選択の幅を広げていけるようにしていきます。

② 虐待防止委員会（身体拘束適正化委員会・ハラスメント対策委員会を含む）にて、利用者支援で不安に感じている支援や判断に困る(悩む)支援などの事例を各部署から集め、事例に対してのグループワークを行い、チームでより良い対応方法を探る議論を重ねました。

職員が日頃行っている支援が利用者の加齢等による変化に適応しているか等、改めて見直し、職員間で共有することで職場環境の透明性の向上に努めました。また、利用者中心の支援について充実を図ることを目的に、虐待防止研修会を全職員対象に実施しました。今後とも利用者の権利擁護の視点から、日々の支援をさらに充実させていきます。

（４）避難訓練の実施（継続）

法人全体で被害状態や安否確認を集約するための通信訓練をはじめ、法人事務局及び釜利谷地域ケアプラザと合同の地震災害発生を想定した避難訓練を実施しました。発災時の役割分担等を含め、災害時により早く事業を復旧することができるよう、実態に即した訓練を行いました。また、施設内に不審者が侵入したことを想定した防犯訓練及び風水害による土砂災害を想定した避難訓練についても昨年度に引き続き実施しました。

その他、職員会議にてBCP（事業継続計画）の周知を進める研修会を実施し、実際に備蓄している発電機の操作方法や炊き出し等の実地訓練を行いました。

※意思決定支援

知的障害や精神障害等で自己決定が困難な障害者が、日常生活や社会生活において自らの意思が反映された生活を送ることが可能となるように、本人の意思の確認及び選好の推定、最後の手段として本人の最善の利益のための意思決定を事業者の職員が代わって行う支援の行為及び仕組みです。

2 令和5年度 航 事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

(単位：円)

	令和5年度	令和4年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	623,684,225	614,008,497	9,675,728	4年度コロナ補助金 268万 処遇改善交付 金537万 5年度介護 給付費1648万増
経常経費寄附金収益	40,000	3,060,000	△ 3,020,000	寄附金実行減
サービス活動収益(1)	623,724,225	617,068,497	6,655,728	
人件費	483,905,412	454,919,549	28,985,863	定期昇給、時給増、社 会保険雇用保険加入増 料率増、増員等
事業費	82,714,720	86,030,962	△ 3,316,242	光熱費実行減
事務費	58,121,153	61,202,022	△ 3,080,869	修繕費実行減
減価償却費	38,705,105	39,233,577	△ 528,472	
国庫補助金取崩額	△ 28,385,334	△ 28,346,630	△ 38,704	
サービス活動費用計(2)	635,061,056	613,039,480	22,021,576	
収支差額(1)-(2)=(3)	△ 11,336,831	4,029,017	△ 15,365,848	
サービス活動外収益(4)	8,120,528	8,563,477	△ 442,949	
サービス活動外費用(5)	2,825,400	2,750,535	74,865	
サービス活動外増減差額(4)-(5)=(6)	5,295,128	5,812,942	△ 517,814	
経常増減差額(3)+(6)	△ 6,041,703	9,841,959	△ 15,883,662	

令和5年度の経常増減差額は △6,042 千円となりましたが、これはコロナ感染症による日中活動の利用減少を始め、利用者の長期入院、グループホームへの地域移行等により、当初計画（予算）より利用実績が減少となったものです。

〈資料編〉

1 実施事業（令和6年3月31日現在）

	事業名	定員数（人）	現員数（人）
国事業	施設入所支援事業	50	47
国事業	生活介護事業	60	75（注1）
国事業	生活介護事業（コパン）	20	22（注2）
国事業	短期入所事業	4	4
横浜市事業	日中一時支援事業	若干名	若干名

（注1）生活介護事業の定員は60人ですが、現員の利用者数は75人。週に2日程度の利用等もあり、1日平均66.4人となっています。

・利用者75人の内訳は、①施設入所利用者が39人、②グループホーム利用者が21人、③在宅の利用者が15人。

（注2）利用者22名の内訳は、①施設入所利用者が8人、②グループホーム利用者が11人、③在宅の利用者が3人。

2 利用者の現況（令和6年3月31日現在）

（1）施設入所支援事業（ユニット）

（ ）は前年度

年齢階層 （歳）	利用者（人）	肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分		
	総数				区分6	区分5	区分4
10～19	0	0	0	0	0	0	0
20～29	5	0	3	0	2	3	0
30～39	9	0	4	0	6	3	0
40～49	17	3	9	7	13	4	0
50～59	15	4	5	6	15	0	0
60以上	1	0	0	0	0	1	0
総数	47	7	21	13	36 (35)	11 (10)	0 (1)
平均年齢	44.6歳				77% (76%)	23% (22%)	0% (2%)

＊利用者の平均年齢は44.6歳、前年度は44.4歳

＊利用者の男女比は男性72.3%、女性27.7% 前年度は男性72.9%、女性27.1%

＊入所施設利用者の障害支援区分は、最重度（障害支援区分6及び5）の利用者が全体で100%となっています。

＊知的障害に加え、重複して肢体不自由（15%）、自閉症（45%）、発作（28%）などの合併症があります。

(2) 生活介護事業（日中活動）

（ ）は前年度

年齢階層	利用者 (人)	肢体 不自由	自閉	発作	障害支援区分			
	総数				区分6	区分5	区分4	区分3
15～19	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	18	2	9	1	12	4	2	0
30～39	16	0	8	0	12	4	0	0
40～49	26	3	13	11	20	6	0	0
50～59	32	3	11	11	28	1	2	1
60以上	5	2	0	0	3	2	0	0
総数	97	10	41	23	75 (76)	17 (14)	4 (4)	1 (1)
平均年齢	44.1 歳				77% (80%)	18% (15%)	4% (4%)	1% (1%)

※利用者の平均年齢は 44.1 歳、前年度は 43.9 歳

※生活介護事業利用者の障害支援区分は、最重度（障害支援区分6及び5）の利用者が全体で95%

※重度障害者支援加算対象者については、航で60人（80%）、コパンで14人（63%）となっています。

※知的障害に加え、肢体不自由（10%）、自閉症（42%）、発作（24%）等の合併症があります。

・活動班・在籍者数（生活介護事業）

（航）

活動班名	羅針盤	和海	農耕園芸班	リサイクル班	陶芸班
利用者数	11 人	10 人	10 人	11 人	9 人
活動班名	手工芸班	アクティブ 班	環境整備班	ITクラブ班	計
利用者数	6 人	11 人	2 人	5 人	75 人

（手織り工房コパン）

活動班名	コパン	アミー	計
利用者数	13 人	9 人	22 人

(3) 短期入所事業

【令和5年度 受入実績】

() は前年度

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
宿泊 人数	37 (15)	46 (37)	43 (33)	43 (28)	39 (32)	37 (37)	
宿泊延 日数	99 (40)	110 (100)	103 (90)	108 (83)	99 (88)	96 (99)	
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿泊 人数	47 (37)	44 (41)	30 (25)	30 (32)	44 (38)	44 (40)	484人 (395人)
宿泊延 日数	110 (96)	102 (107)	73 (65)	83 (81)	100 (104)	100 (104)	1183日 (1057日)

※・短期入所事業は、介護者の入院、冠婚葬祭やレスパイト等により利用者の介護ができない場合に、「航」の宿泊・日中活動を短期間利用できる制度で、利用者・家族が在宅生活を継続するために必要なセーフティネットの役割を果たしています

※短期入所事業の利用実績は、12月、1月に新型コロナウイルスの発生及びウイルス性胃腸炎が発生したことにより当該月人数の減少は見られました。年単位では前年度と比べて利用希望者増加傾向であり、前年度比で延べ利用人数 89 名の増（123%）となりました。また、宿泊延日数では前年度比 126 日の増（112%）となっています。

※一人当りの平均利用日数は 2.4 日

※利用最長日数 45 日／月、利用最短日数 2 日

※利用の主な理由

- ・介護者の休息（レスパイト） 約 48%
行事、外出、その他
- ・介護者の仕事 約 36%
- ・介護力低下 約 11%
- ・体験利用 約 24%

(4) 日中一時支援事業

【令和4年度 受入実績】

() は前年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4時間未満	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	
4時間～ 8時間未満	3 (0)	1 (0)	2 (2)	2 (3)	1 (0)	1 (0)	
8時間以上	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4時間未満	1 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	18人 (0人)
4時間～ 8時間未満	2 (1)	2 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	14人 (11人)
8時間以上	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0人 (0人)

※日中一時支援事業は、宿泊を伴わない日中の時間帯に利用できます。継続して一定の利用ニーズがあります

※利用の主な理由

- ・介護者の休息（レスパイト） 約91%
行事、外出、その他
- ・介護者の仕事 約0%
- ・介護力低下 約0%
- ・体験利用 約9%

3. 安全への配慮

①転倒	②誤与薬			③外傷		④所在不明		⑤誤嚥	⑥異食	⑦他害	⑧車両
	怠薬	誤与薬	落錠	通院あり	様子観察	施設外	施設内				
37 (31)	3 (6)	8 (2)	7 (7)	26 (14)	8 (13)	4 (0)	1 (2)	1 (0)	0 (0)	6 (4)	7 (1)
	18 (15)			34 (27)		5 (2)					
108件 (80件)											

① 転倒は37件（前年度8件）で、前年度より6件増加しました。

② 誤与薬の事故件数は8件（前年度2件）で、前年度より6件増加。与薬時に錠剤を口元等から滑らせて床に落下させてしまう落錠に加え、口から吐き出してしまう事での落錠や、排泄状況に応じた下剤の追加等を誤ってしまう怠薬が目立ちました。

- ③ 外傷件数は34件(前年度27件)で7件増加しました。外傷のうち、同一利用者の転倒等に起因するものが複数見られました。
- ④ 所在不明の件数は5件。(短期入所中の利用者1名、入所利用者2名、生活介護利用者2名)。
- ⑤ 誤嚥は1件。
- ⑥ 異食は0件。
- ⑦ 他害行為は6件(前年度4件)で2件の増加。
- ⑧ 車両事故は7件。
- ＊事故報告書については、軽微な事故でもすべて報告するよう義務づけ、施設長決裁としています。今後も事故防止の徹底に努めていきます。

4. 職員研修(人材育成)

- 今年度も、前年度に引き続き、外部の研修機関に、職員を多く派遣することができました。加算算定等に係る研修として、「強度行動障害者支援者養成研修および行動援護従業者養成研修(6名)」、「サービス管理責任者研修(3名)」、「医療的ケア実務者研修(2名)」に派遣を行いました。また、職員のキャリア形成や新任職員育成を目的とした研修として、「チームリーダー研修」「フォローアップ研修」等の研修にも派遣することが出来ました。
- 内部研修については、現場職員に必要とされる研修内容の聞き取りを行い年間スケジュールを計画し実施しました。応急手当(心肺蘇生法)、感染症予防の実施研修及び、腰痛予防研修として、ケアプラザの職員を講師に招いての実施研修、昨年度に引き続き、全職員参加型の虐待防止委員会主催の虐待防止・人権研修を行いました。また、外部講師を招き「自閉症の方へのかかわり～特性の理解と支援」の研修を実施しました。

5. その他

(1) 苦情解決

苦情受付 ①件数 0件(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

②内容

(件)

苦情の内容	令和5年度	令和4年度
① 虐待・放置・脅迫・詐取に関すること	0	0
② サービス・支援内容に関すること	0	0
③ 個人の嗜好・選択に関すること	0	0
④ 利用者の所持金に関すること	0	0
⑤ その他	0	0
計	0	0

(2) 虐待防止委員会

昨年度に引き続き、全ての障害福祉サービス事業所に義務付けられる虐待防止委員会（身体拘束適正化含む）の設置・開催しました。

	開催日	内容
第1回	5月16日	委員会の目的、虐待防止指針・身体拘束の適正化指針の確認、年間スケジュール、職員セルフチェックリストマニュアルの確認
第2回	8月1日	職員セルフチェックリストの結果についての報告と共有、研修内容の検討
第3回	10月3日	研修に向けた検討
第4回	11月19日	研修内容・資料の確認
主催研修	11月28日	「虐待防止・人権研修」（職員会議内）
第5回	3月26日	次年度に向けて

(3) 避難訓練

令和4年度の航の避難訓練は、9月21日、10月21日、2月29日の3回実施しました。9月は、日中の地震からの火災を想定し、ケアプラザと合同で実施し、また、法人全体での通信訓練も実施しました。10月は、ケアプラザ合同で、夜間における火災を想定し白山道町内会にも参加して頂き、訓練を実施しました。また、夜間の土砂災害を想定した避難訓練及び消化訓練を実施し、2月は、日中の地震を想定し訓練を実施しました。訓練では利用者の避難誘導を行った後に、職員を対象に水消火器を使用した初期消火訓練や土砂災害を想定した職員の応援要請の手順・情報伝達方法などの学習を行いました。

・航の従たる事業所と手織り工房コパンにおいてもそれぞれ避難訓練を実施しました。

「和海」（金沢区釜利谷東）では、2月29日（洪水想定）、3月6日（地震想定）、3月18日（火災想定）に実施し、「羅針盤」（金沢区泥亀）では、10月19日（洪水想定）、11月27日（地震想定）、12月27日（火災想定）に実施しました。また、「手織り工房コパン」（金沢区釜利谷東）では1月16日（地震・火災想定）、「手織り工房アミー」（金沢区釜利谷南）では、10月25日（地震・火災想定）、2月1日（土砂想定）3月11日（地震・火災想定）に実施しました。

令和5年度 金沢地域活動ホームりんごの森事業報告

概説

新型コロナウイルスが感染症法上の5類となり、今まで定例で行われていた「りんごの森感謝祭」や日中活動の「日帰り旅行」などを再開し、施設の開放や利用者の生活の充実に取り組みました。

また、区内小学校や保育園との関係を構築し、協同でのパン製造や季節行事でのふれあいの機会を作ることが出来ました。今後も地域交流を発展させる事で更なる障害理解や啓発に繋げていきます。

その他、ネーブルでは卒業生2名を含む計8名を受け入れました。受け入れを進める中で行動障害を伴う自閉症の方の利用相談や見学などを受けることが多く、障害特性に合わせた支援が求められている状況を確認しました。今後は職員に研修等を通して専門的な知識技術を習得するなど支援力の向上に取り組みます。

1. 重点項目の実施状況

(1) 日中活動における利用者の積極的な受け入れ（継続）

りんごの森では、4月に卒業生を中心に6名の受け入れを行いました。しかし、1日の平均利用人数は年間平均40名と前年の44.4名と比較し利用減が顕著となりました。要因としてはネーブルに13名のご利用者が移られた他、6月に新型コロナの集団感染による利用控えの影響がありました。今後も積極的な受け入れを継続し、安定的な収入確保に努めます。

○りんごの森生活介護（1日の平均利用人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和5年度	42.4	40.6	33.7	40.5	36.9	41.1	41.6	41.7	39.3	41.1	41.4	41.3	40.0
令和4年度	48.2	47.5	50.3	45.8	42.2	48.0	48.7	42.2	40.9	39.6	40.1	39.1	44.4

その他の事業所について、ネーブルでは1日の平均利用人数は年間平均15.4名でしたが、令和6年3月では19名まで増加することが出来ました。また、ラ・ヴァリエッタの就労継続支援B型では1日の平均利用人数が6.9名と前年の4.3名に比べて増加しているものの、定員（10名）を満たすには至りませんでした。

○ネーブル生活介護（1日の平均利用人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和5年度	14.1	12.7	12.3	13.7	12.8	15.1	16.0	17.4	17.2	17.2	18.4	19.0	15.4
令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	7.0	10.1	10.8	10.9	11.4	10.0

○ラ・ヴァリエッタ就労継続支援B型（1日の平均利用人数）

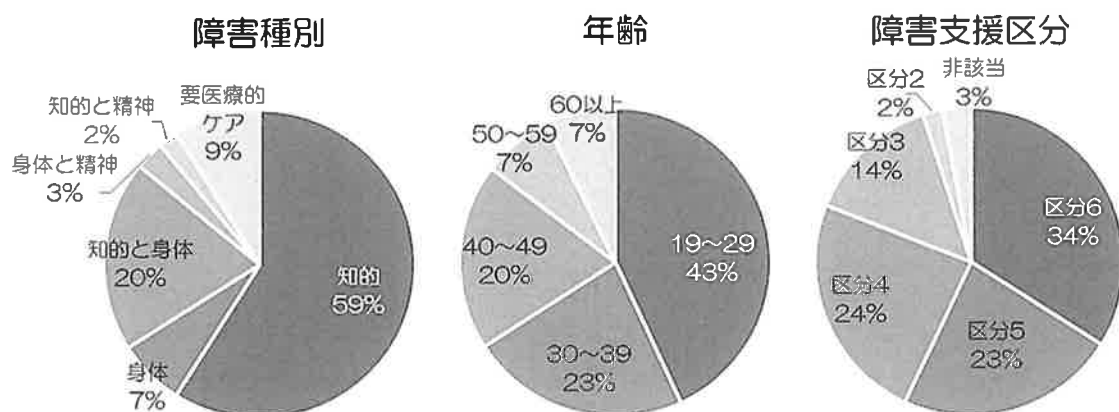
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和5年度	8.0	7.4	7.4	7.9	6.4	7.3	7.2	6.8	6.5	5.5	5.9	6.2	6.9
令和4年度	4.4	3.6	3.7	3.4	3.7	4.3	4.3	4.1	4.8	4.5	5.4	5.7	4.3

○日中活動契約者の利用状況

事業所名	事業種別	定員	契約者数	1日の平均 利用人数	平均年齢	平均障害 支援区分
りんごの森	生活介護	40	79 (75)	40 (44.4)	37.1 (37.3)	4.9 (4.9)
	地域活動支援センター (デイサービス型)	10	0 (1)	0 (0.3)	— (46)	— (2)
ラ・ヴァリエッタ	生活介護	10	12 (10)	10.9 (9.3)	35.1 (37.3)	4.4 (4.6)
	就労継続支援B型	10	10 (7)	6.9 (4.3)	26 (28)	0.7 (0.6)
ネーブル	生活介護	20	22 (15)	15.4 (10)	31 (31.4)	5 (4.8)
合計		90	123 (108)	73.1 (68.1)	32.7 (35.9)	4.5 (4.8)

() 内は昨年度の状況

○日中活動全体の利用者の状況（令和6年3月31日現在）



(2) 相談支援事業の推進（継続）

金沢区役所や生活支援センターとの連携の中で、ご家族の高齢化など緊急対応が必要となりそうな方の整理や共有を継続してきましたが、十分に網羅出来ていないことが確認できました。このため、今後は金沢区障害者地域自立支援協議会の計画相談部会の中で緊急対応となった事例の共有や緊急対応への備えを相談員が意識できるよう検討の場を設けます。

その他、研修会として11月に支援力向上研修（応用行動分析）を開催。参加事業所からは具体的な支援方法を得る機会として好評を得ているため、次年度も継続開催します。

(3) 一人暮らし体験事業の実施（継続）

基幹相談支援センターの登録者3名に対してショートステイ事業を活用した「一人暮らし体験事業」を実施しました。掃除や買物など判断力を伴う日常生活動作について支援者が付き添いながら評価を行いました。取り組みを通して客観的な評価がご本人の自信につながっている様子でした。次年度は更に実施回数を増やし、体験の機会を拡大します。

（４）生活困窮者支援の実施（継続）

金沢区生活支援課との定例会議の中で、対象者の支援状況の確認や今後の支援方針について検討を行いました。また、自立生活アシスタントが対象者宅へ定期的に訪問し、生活上の不安や困りごとについて話を聴く他、必要物品を整理し生活環境の改善を促しました。対象者も支援を受けることで前向きな様子が見られています。この事業は家計改善が支援の中心となりますが、今後も対象者の意思を大切にしながら支援します。

（５）虐待防止の推進と身体拘束の適正化に向けた取り組み（継続）

虐待防止等研修について、7月には金沢区障害者地域自立支援協議会主催の研修（虐待防止法の概要）に参加したほか、12月には虐待防止委員会企画の研修を2日間開催し75名の職員が参加しました。不適切な対応事例を題材にグループワークを行い、その対応が虐待や身体拘束と認定されるのかどうかを検討し、各グループで必要な支援を発表しました。今後も研修等を実施し、自らを振り返る機会を設けることでご利用者の権利擁護に努めます。

（６）独自事業（区との連携事業）の推進（継続）

今年度より親子 DE 将来あんしん講座と銘打ち、地域で暮らす障害のある当事者及びその家族と地域の支援者を対象に勉強会などを開催いたしました。将来の暮らしや成年後見制度など、以前より関心の高いテーマについて、座談会形式としたことでより理解に繋がっていた様子でした。今後も内容を一部変更しながら開催します。

○親子DE将来あんしん講座

第1回	私のエンディング、誰がやってくれるの？ ～最後の時までにはやっておくこと～ 勉強会	NPO法人 人生まるごと支援 三国浩晃氏	6月30日
第2回	梅切らぬバカ 映画上映会&講演	映画監督 和島香太郎氏	8月30日
第3回	私の暮らしを考える ～つなげる・広げる～ 勉強会&座談会	当事者 計画相談員	10月7日
第4回	成年後見制度について学ぶ ～士業の先生に聞いてみよう～ 勉強会&座談会	弁護士 角田勝政氏 行政書士 谷口一郎氏 社会福祉士 西谷あけみ氏	11月1日

2 令和5年度 金沢地域活動ホームりんごの森 事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

(単位：円)

	令和5年度	令和4年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	265,443,294	229,814,086	35,629,208	利用者の増
就労支援事業収益	21,195,856	16,322,371	4,873,485	チョコレートの販売増
経常経費寄附金収益	2,030,000	100,000	1,930,000	寄附金による増
サービス活動収益(1)	288,669,150	246,236,457	42,432,693	
人件費	202,656,266	183,096,773	19,559,493	非常勤職員の増 社会保険料による増
事業費	26,965,353	28,360,582	△ 1,395,229	ネーブル開設に伴う消耗品支出の減
事務費	43,551,482	37,742,545	5,808,937	ネーブル、相談室の資料の増
就労支援事業費用	20,948,298	16,578,434	4,369,864	チョコレート販売増による仕入れの増
減価償却費	15,541,760	13,710,684	1,831,076	固定資産減価償却の増
国庫補助金取崩額	△ 11,021,212	△ 9,389,769	△ 1,631,443	
サービス活動費用計(2)	298,641,947	270,099,249	28,542,698	
収支差額(1)-(2)=(3)	△ 9,972,797	△ 23,862,792	13,889,995	
サービス活動外収益(4)	8,572,793	7,135,709	1,437,084	パンの売り上げなどによる増
サービス活動外費用(5)	2,091,750	2,034,250	57,500	
サービス活動外増減差額(4)-(5)=(6)	6,481,043	5,101,459	1,379,584	
経常増減差額(3)+(6)	△ 3,491,754	△ 18,761,333	15,269,579	

令和5年度の経常増減差額は△3,491千円となりましたが、りんごの森で6月に新型コロナウイルス集団感染による利用控えがあり、当初計画(予算)より減収(約2,200千円)だったこと及び、ネーブル非常勤職員増員による支出増等が要因です。

＜資料編＞

1. 実施事業（令和6年3月31日現在）

主な事業一覧

	事業名	定員数（人）	現員数（人）
国事業	生活介護事業	40	79
横浜市事業	地域活動支援センター（デｲ型）	10	0
国事業	生活介護事業（ラ・ヴﾞアリッタ）	10	12
国事業	就労継続支援B型事業（ラ・ヴﾞアリッタ）	10	10
国事業	生活介護事業（ネーブル）	20	22
横浜市事業	地域活動支援事業	ショートステイ事業	登録制
		一時ケア事業	登録制
		余暇活動支援事業	
		おもちゃ文庫	
国事業	自立生活援助事業	10	2
横浜市事業	自立生活アシスタント事業	25	25
国事業	生活困窮者アウトリーチ支援事業		1
国事業	金沢区基幹相談支援センター		
国事業	指定特定相談支援事業（計画相談）		267

2. 各種事業の実績と利用者の状況

日中活動

1-1) りんごの森 生活介護事業・地域活動支援センター（デイ型） 実績

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		20日	20日	22日	20日	22日	20日	21日	20日	20日	19日	19日	20日	243日
		(20)	(19)	(21)	(20)	(22)	(20)	(20)	(20)	(20)	(19)	(19)	(22)	(242)
生活介護	登録者数	79	79	79	79	79	80	80	80	80	79	79	79	952
		(88)	(88)	(89)	(90)	(89)	(89)	(89)	(85)	(77)	(75)	(75)	(75)	(1009)
	延利用人数	846	812	741	809	812	821	873	834	786	781	787	826	9728
		(963)	(902)	(1057)	(915)	(928)	(960)	(974)	(843)	(817)	(752)	(762)	(861)	(10734)
	在宅利用人数	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	延在宅利用日数	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	自肅人数	1	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	0	15
地域活動支援センター（デイ型）	登録者数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(12)
	延利用人数	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
		(4)	(3)	(5)	(4)	(5)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)	(4)	(48)
	在宅利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延在宅利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自肅人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体	登録者数	80	80	79	79	79	80	80	80	80	80	80	80	957
		(89)	(89)	(90)	(91)	(90)	(90)	(90)	(86)	(76)	(76)	(76)	(76)	(1019)
	延利用人数	847	813	741	809	812	821	873	834	786	781	787	826	9730
		(967)	(905)	(1061)	(919)	(933)	(964)	(978)	(847)	(821)	(760)	(769)	(871)	(10795)
	在宅利用人数	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	延在宅利用日数	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	自肅人数	1	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	0	15

（ ）内は昨年度の状況

1-2) りんごの森 生活介護事業 利用者の状況

年齢階層 (歳)	利用者 (人)	障害支援区分						知的	身体	精神 と 重複	知的・ 身体 の 重複障 害	内 要医療
		区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当					
19～29	29	14	8	4	3	0	0	9	3	0	17	7
30～39	18	9	6	3	0	0	0	9	2	1	6	2
40～49	18	5	2	9	2	0	0	12	4	0	2	0
50～59	7	3	0	1	2	1	0	4	0	1	2	0
60以上	7	0	1	3	3	0	0	4	1	0	2	0
総数	79	31	17	20	10	1	0	38	10	2	29	9
平均年齢	37.1	39%	22%	25%	13%	1%	0%					

平均年齢は、37.1 歳（昨年度は 37.3 歳）

平均障害者区分 4.9、区分 5 以上が 61%、

知的障害の方が 48%、知的障害と身体障害の重複の方が 37%、医療的ケアを必要とする方が 11%です。

・活動状況

9月には横浜市立八景小学校の個別支援級の生徒さんから食育支援活動として栽培したトマトを譲り受け、ピザトーストを製造販売しました。また、12月のクリスマスではアイン保育園の園児さんが来所し、歌のプレゼントを受けるなど、地域の方々との交流を深めました。その他、秋には日帰り旅行を実施し、各々の希望に沿って横須賀軍港めぐりやカップヌードルミュージアムを訪れ、見学や昼食を楽しみました。

・活動班

- a アップルベーカリー（主にパン作り）
- b アップルスイーツ（車いすの方でも参加できる菓子製造）
- c アップルファクトリー（主に制作活動）
- d アップルクラフト（手芸を中心とした活動）
- e アップルアート（静かな環境を好む方の活動）
- f アップルアラカルト（散歩や体操等動きを伴う活動）

・その他活動

- a 運動プログラム（ダイヤビック、散歩他）
- b 外販（規模を縮小。法人本部、柳町CP 各1回/月）
- c スヌーズレン
- d おやつ企画（毎月1回）

2-1) ラ・ヴァリエッタ (la varietta) 生活介護事業・就労継続支援B型事業 実績

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		20日	20日	22日	20日	22日	20日	21日	17日	20日	19日	19日	20日	240日
		(20)	(19)	(22)	(20)	(22)	(20)	(20)	(20)	(20)	(19)	(19)	(22)	(243)
生活介護	登録者数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
		(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(120)
	延利用人数	231	228	240	226	220	212	227	188	216	203	214	228	2633
		(191)	(183)	(208)	(186)	(178)	(193)	(190)	(185)	(156)	(181)	(186)	(216)	(2253)
就労継続 B型	登録者数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
		(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(6)	(6)	(6)	(7)	(7)	(67)
	延利用人数	159	147	162	157	140	145	151	116	130	104	112	123	1646
		(88)	(68)	(82)	(67)	(82)	(86)	(86)	(82)	(96)	(86)	(103)	(125)	(1051)
全体	登録者数	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
		(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(16)	(16)	(16)	(17)	(17)	(187)
	延利用人数	390	375	402	383	360	357	378	304	346	307	326	351	4279
		(279)	(251)	(290)	(253)	(260)	(279)	(276)	(267)	(252)	(267)	(289)	(341)	(3304)

() 内は昨年度の状況

2-2) ラ・ヴァリエッタ (la varietta) 生活介護事業 利用者の状況

年齢 階層	障害支援区分別							知的	身体	精神 と 重複	知的・身体の 重複障害	
	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当					内要医療
19～29	5	1	0	2	2	0	0	2	0	0	3	0
30～39	3	0	1	2	0	0	0	2	0	0	1	0
40～49	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
50～59	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
60以上	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
総数	12	3	2	5	2	0	0	6	1	0	5	0
平均年齢	35.3	24%	17%	42%	17%	0%	0%					

平均年齢は 35.1 歳（昨年度は、37.3 歳）

平均支援区分 4.4、区分5以上が 40%

知的障害の方が 50%、知的障害と身体障害の重複の方が 42%

・活動状況

今年度より、日ごろの運動不足解消を目的に週1回、身体を動かす機会を取り入れました。体操の時間になると自ら体操の準備を行う様子も見られ、今では、利用者の楽しみの一つとなっています。また、11月には、八景島シーパラダイスへ日帰り旅行を実施しました。フードコートで好きな昼食を食べたり、お土産を購入するなど楽しむ様子が見られました。

2-3) ラ・ヴァリエッタ (la varietta) 就労継続支援B型事業 利用者の状況

年齢階層 (歳)	合計	障害支援区分						知的	身体	精神	知的・身体 重複障害	
		区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当					内要医療
19~29	8	0	1	0	2	1	4	8	0	0	0	0
30~39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40~49	2	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0
50~59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	10	0	1	1	2	1	5	9	1	0	0	0
平均年齢	25.9	0%	10%	10%	20%	10%	50%					

平均年齢は、26歳（昨年度は28歳）

非該当の方が50%、知的障害の方が90%

・活動状況

4月には卒業生を中心に3名の利用者を受け入れ10名となりました。ご利用者についてチョコレートの製造販売に関する能力は高く個々人の力を十分に発揮することが出来ます。一方で、仕事よりも他者との人間関係に気持ちが向かいやすく、コミュニケーションがうまく取れないことを理由に欠席するご利用者が数名見られています。今後も活動を通して、ご本人の働く意欲を高められるよう配慮するなど、気持ちに寄り添った支援を継続します。

3-1) ネーブル（生活介護事業）実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開所日数	20日	20日	22日	20日	22日	20日	21日	20日	20日	19日	19日	20日	203日
		(20)	(19)	(22)	(20)	(22)	(20)	(20)	(20)	(20)	(19)	(19)	(22)	(243)
生活 介護	登録者数	17	16	16	17	18	19	20	21	21	22	22	22	231
									(12)	(14)	(14)	(14)	(15)	(69)
	延利用人数	282	254	270	274	281	302	336	348	344	327	350	380	3748
									(139)	(201)	(206)	(207)	(250)	(1003)

() 内は昨年度の状況

3-2) ネーブル 生活介護事業 利用者の状況

年齢階層		障害支援区分						知的	身体	精神	知的・身体 の重複障害	
(歳)	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当					内 要医療
19～29	10	2	5	2	1	0	0	10	0	0	1	0
30～39	8	5	2	1	0	0	0	7	0	0	0	0
40～49	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0
50～59	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60以上	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
総数	22	8	8	4	2	0	0	19	0	0	3	0
平均年齢	30.8	36%	36%	18%	10%	0%	0%					

平均年齢、31 歳（昨年度は、31.4 歳）、平均障害支援区分は 5.0、区分5以上が 73%
知的障害の方が 86%、知的障害と身体障害の方が 14%

・活動状況

4 月には卒業生 2 名の受け入れを行った他、計画相談事業所や利用希望のご家族からの申込みが多数あり、年度末までの間に 6 名を追加で受入れました。ご利用者の多くは行動障害を伴う自閉症の方が中心であり、これまで障害特性に合わせた支援が十分に受けられないことを理由に見学や相談があり、受け入れへとつながりました。また、受け入れに際しては体験利用を数日間行い、その中でアセスメントによる障害の状態像の調査分析を行い、この結果にもとづいて環境調整やスケジュール作成等の準備を行いました。事前準備の上で

受け入れたことで、受入れ後もスムーズに活動に乗ることができ、ご利用者の安心につながっている様子が見られています。

その他、活動の幅を広げるために、今年度より、新たに、ペットボトルキャップの色分け作業を開始しました。キャップを色ごとに仕分ける作業はご利用者にとって分かりやすく、集中して取り組む様子が見られました。

地域生活支援

1-1) 一時ケア・ショートステイ 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日
一時 ケア	件数	116	117	103	131	126	140	130	122	120	134	118	131	1488
		(140)	(146)	(141)	(149)	(131)	(150)	(151)	(131)	(129)	(131)	(112)	(130)	(1641)
	時間数	271.5	280.5	262	303.5	256.5	235	306.5	284	288	295	286	316	3385
		(370)	(409)	(344)	(387.5)	(396.5)	(397.5)	(393)	(292)	(326)	(318)	(269.5)	(284)	(4187)
SS	件数	65	65	56	68	57	68	66	65	73	70	70	71	794
		(61)	(69)	(71)	(69)	(58)	(72)	(69)	(62)	(62)	(66)	(63)	(70)	(792)

() 内は昨年度の状況

・活動状況

ショートステイでは、金沢区基幹相談支援センターと連携して、一人暮らし体験事業を実施し、3名の方を受け入れました。体験を通して調理に不慣れな様子が見られたため、ご本人に伺ったところ、自宅であまり関わっていないという事が分かりました。また、一時ケアでは、緊急時の受け入れができるように職員体制を整えて、ご本人やご家族がご安心できるように支援を行いました。一時ケアを利用する目的としては、ご家族の仕事の都合や、他事業所のサービス調整が困難な事が主な理由として上がりました。

1-2) おもちゃ文庫 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数 内訳	児童	89	80	52	98	159	96	81	79	138	125	105	167	1269
		(74)	(51)	(80)	(132)	(134)	(109)	(123)	(111)	(120)	(117)	(133)	(151)	(1335)
	保護者	78	67	43	82	134	83	61	64	113	106	89	129	1049
		(63)	(48)	(60)	(106)	(107)	(104)	(109)	(98)	(102)	(104)	(117)	(139)	(1157)
合計		167	147	95	180	293	179	142	143	251	231	194	296	2318
		(137)	(99)	(140)	(238)	(241)	(213)	(232)	(209)	(222)	(221)	(250)	(290)	(2492)

() 内は昨年度の状況

・活動状況

新型コロナウイルス感染症5類移行後、事前予約制から当日受付に変更し、定員も段階的に増やしていき、いつでも利用ができるように受入れ体制を整えました。また、5月以降は砂場遊びも実施した他、7月と8月にはベランダにビニールプールを設置し、お子様が楽しめる水遊びも行ないました。

1-3) 余暇活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)
参加人数	3	4	4	4	4	3	4	4	3	4	4	4	45
	(0)	(0)	(0)	(4)	(5)	(4)	(4)	(5)	(4)	(3)	(4)	(4)	(37)

() 内は昨年度の状況

・活動状況

毎月第3土曜日に館内でできるランプ作りやうちわ作り等の工作活動の他、ご利用者に希望を聞き、ご本人たちが楽しめる映画を館内で実施しました。ご利用者も日頃できない活動に参加できて満足した様子が見られていました。

令和5年度の主な余暇活動

4月：フォトフレームを作ろう

5月：りんごの森で映画鑑賞

6月：キーホルダーを作ろう

7月：オリジナルうちわを作ろう

8月：りんごの森で映画鑑賞

9月：ランプを作ろう

10月：ハロウィンの飾りを作ろう

11月：りんごの森で映画鑑賞

12月：クリスマスの飾りを作ろう

1月：ランプを作ろう

2月：りんごの森で映画鑑賞

3月：フォトフレームを作ろう

自立生活支援

1-1) 自立生活アシスタント事業 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録人数	26 (25)	26 (24)	26 (24)	27 (24)	27 (24)	26 (23)	26 (23)	25 (24)	25 (24)	25 (24)	25 (24)	24 (25)	308 (288)
面接(来所)	15 (7)	9 (3)	5 (3)	4 (10)	18 (9)	7 (7)	11 (8)	11 (9)	5 (9)	7 (4)	5 (8)	11 (7)	108 (84)
電話・メール等	29 (28)	20 (35)	26 (23)	24 (15)	11 (47)	14 (31)	33 (81)	33 (70)	44 (62)	44 (87)	28 (70)	35 (44)	341 (593)
訪問	51 (45)	37 (34)	28 (40)	51 (54)	44 (51)	51 (48)	41 (49)	41 (54)	31 (47)	41 (49)	35 (56)	41 (59)	492 (586)
同行	38 (39)	30 (37)	18 (28)	27 (42)	37 (49)	29 (53)	34 (40)	36 (52)	35 (53)	38 (38)	32 (27)	25 (35)	379 (493)
その他カンファレンス	2 (2)	3 (1)	1 (1)	1 (2)	4 (4)	1 (0)	1 (0)	4 (0)	2 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	20 (13)

() 内は昨年度の状況

・活動状況

7月に自立生活援助事業からの移行による1名の登録がありました。一方で9月と11月には、グループホームへの入居や自立による支援終了による2名の契約解除がありました。

1-2) 自立生活援助事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約人数	1 (1)	1 (1)	2 (1)	1 (2)	1 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	20 (21)
面接(来所)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	1 (0)	5 (2)
電話・メール等	0 (6)	0 (3)	3 (0)	0 (1)	2 (0)	0 (0)	6 (0)	4 (2)	2 (1)	1 (1)	5 (1)	11 (1)	34 (16)
訪問	2 (8)	5 (3)	5 (3)	3 (8)	4 (5)	7 (9)	10 (7)	7 (5)	10 (8)	11 (4)	13 (5)	6 (4)	83 (69)
同行	0 (3)	0 (5)	0 (2)	0 (1)	1 (1)	3 (2)	6 (0)	4 (0)	3 (4)	7 (0)	13 (1)	3 (0)	40 (19)
その他カンファレンス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	4 (0)

() 内は昨年度の状況

・活動状況

6月と9月に2名の契約を行いました。一方で6月に自立生活アシスタント事業へ移行による1名の契約解除がありました。

1-3) 生活困窮者アウトリーチ支援 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)
面接(来所)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)
電話・メール等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)
訪問	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)
同行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)
カンファレンス等	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)

() 内は昨年度の状況

・活動状況

支援開始から1年5か月が経過し、ご本人の家計改善が安定してきたことにより、契約が終了となりました。

相談支援

1-1) 金沢区基幹相談支援センター 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談件数内訳	相談件数 (昨年度)	216 (226)	211 (243)	209 (208)	150 (192)	206 (224)	175 (258)	188 (219)	192 (262)	204 (250)	202 (237)	189 (245)	265 (270)
	うち金沢区	215	208	205	145	201	160	179	186	193	188	179	257
	実人員	92	96	92	85	92	88	95	96	92	85	95	92
	成人	76	83	76	70	76	76	84	85	79	79	84	80
	うち金沢区	75	80	73	68	75	73	82	82	74	76	79	79
	児童	16	13	16	15	16	12	11	11	13	6	11	12
	うち金沢区	16	13	16	15	16	11	11	11	13	6	11	10
新規・相談経路（実人員）	新規	7	8	5	8	2	10	8	15	5	2	10	15
	継続	85	88	87	77	90	75	87	81	87	83	85	77
	本人・家族	2	4	1	3	2	4	3	4	4	1	3	5
	学校	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	区役所CW、MSW	2	1	1	0	0	0	1	3	0	0	1	1
	他区地域活動ホーム等	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	計画相談事業所等	2	0	0	3	0	0	0	1	0	0	2	2
	訪問系サービス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	1	3	3	2	0	5	3	5	1	1	4	6	
障害種別（延件数）	身体障害	8	6	6	1	4	3	4	4	22	23	14	18
	知的障害	89	117	106	79	114	80	97	101	106	95	92	135
	精神障害	71	50	51	46	60	49	60	59	43	48	50	69
	重心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
	発達障害等	21	23	25	16	24	29	16	20	23	32	25	37
	不明	27	15	21	8	4	14	6	8	10	4	8	6
	障害種別(小計)	216	211	209	150	206	175	188	192	204	202	189	265
相談内訳（延件数）※複数カウント	福祉サービス利用等に関する支援	111	102	109	77	124	86	86	103	134	124	110	166
	障害や病状理解に関する支援	57	48	34	27	36	15	29	31	34	15	32	36
	健康・医療に関する支援	55	53	49	34	29	22	35	32	19	24	27	39
	不安の解消等に関する支援	71	54	62	48	59	44	51	53	56	37	44	62
	保育・教育に関する支援	2	5	3	4	2	1	5	4	4	5	6	6
	家族関係等に関する支援	43	33	39	27	31	27	26	39	27	35	36	52
	家計・経済に関する支援	26	16	28	17	14	12	26	19	14	22	17	11
	生活技術に関する支援	12	21	15	15	22	13	13	17	10	18	27	23
	就労に関する支援	12	15	7	12	11	17	18	12	13	10	9	11
	社会参加等に関する支援	5	9	7	8	9	0	6	3	8	7	15	11
	権利擁護に関する支援	3	4	7	3	5	1	7	3	2	1	4	5
	視覚障害者等への朗読等支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ピアカウンセリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サービス担当者会議	7	10	10	6	7	7	5	4	7	7	6	12
地域自立支援協議会	3	7	14	10	6	7	10	8	5	8	5	5	
基幹相談支援センター連絡会	1	2	2	2	3	2	2	2	2	2	3	2	
金沢区関連の連絡会議	3	3	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	
その他の関係機関連絡会議	1	3	4	4	2	4	2	4	6	6	4	3	

() 内は昨年度の状況

・活動状況

金沢区障害者地域自立支援協議会の事務局として、地域の多数の関係者に参加してもらえよう運営内容に工夫を凝らすだけでなく、関係者の方々に参画しやすい部会となるよう努めました。年 3 回の全体研修（虐待防止研修、支援力向上研修、精神障害理解研修）や各部会における勉強会等を実施することで、地域関係者のニーズに応え、地域全体の力の向上に貢献してきました。また各部会の活動が進む中で、徐々に地域における課題が挙がっており、主に挙がっているのは、「移動の困難」「障害理解啓発の不足」「発災時の対応」「人材確保・育成の困難」になり、「移動の困難」は部会委員の方に、課題の洗い出しとその解決のためのアイデア出しをしてもらう機会を持ちました。「障害理解啓発の不足」は、啓発動画の作成にもつながっています。

地域のお住まいの障害のある方やそのご家族、テーマに関心のある地域住民に向けた勉強会も引き続き実施しており、昨年度からは「親子 DE 将来あんしん講座」を開催しています。6 月から 11 月にかけて講座 3 回と映画上映会 1 回を実施し、沢山の方に来ていただきました。相談登録者に関しては、発達障害や行動障害の他、本人や家族の高齢化等に伴い支援困難な状況にある方の相談が増えてきています。そのため、専門機関である二次相談機関（発達障害者支援センター等）や他職種（病院ソーシャルワーカー等）と連携して対応しました。

今後も地域生活支援拠点機能の整備と拡充に向け、地域の事業所の理解と意識向上のために、自立支援協議会や事業所訪問等を通して周知活動や検討の機会を持っています。障害福祉分野だけでなく、他分野（高齢・学校・地域等）ともつながりを持つことで、地域全体で障害のある方を支えられるような体制の構築を目指していきます。

1-2) 指定特定相談支援事業（計画相談） 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	272	272	271	273	273	273	273	270	269	267	267	267	3247
	(270)	(269)	(271)	(271)	(271)	(270)	(270)	(270)	(270)	(270)	(270)	(272)	(3244)
計画案作成	14	10	12	11	12	22	14	22	20	30	26	37	230
	(12)	(8)	(12)	(12)	(15)	(24)	(15)	(24)	(18)	(25)	(19)	(34)	(218)
モニタリング	57	63	68	62	68	71	45	50	51	42	34	43	654
	(62)	(70)	(69)	(66)	(65)	(68)	(43)	(52)	(65)	(53)	(59)	(62)	(734)

() 内は昨年度の状況

・活動状況

3 名の相談員の内 1 名の相談員が主任相談員の資格を取得しており、令和 5 年度に開催された神奈川県障害者相談支援従事者初任者研修のインストラクターを務め、研修に参加した初任者が感じる連携の難しさについて事例を通して伝えました。金沢区自立支援協議会の相談部会にも参加し、サービス等利用計画書と個別支援計画書の役割を伝え、相談事業所

と日中活動の情報共有化の大切さを改めて確認し、他事業所の方々と意見交換を行いました。

3. 研修

①法人内研修

研修名	参加者数
新任職員研修 中堅フォローアップ研修 階層別研修（新人研修、中堅職員、課長補佐） 管理職研修 人権啓発研修 虐待防止及び、身体適正化研修 ハラスメント防止研修 感染症（吐物処理、アルコールの使い方）研修 ヒヤリハット研修	延べ 197 名

②外部研修

研修名	参加者数
サービス管理責任者補足研修 サービス管理責任者基礎研修 行動援護従事者研修 相談支援従事者現任者研修 精神障害を学ぶ 自閉症基礎セミナー2023 パーソナリティ障害の理解の接し方 プレゼンテーション研修 制度を学ぶ研修～生活保護制度とは～ 安全運転管理者等法定講習 広報力向上研修 社会福祉法人会計基準対応研修（応用編） 知識と根拠に基づいて～感染対策 Up date!! 気になる子どもの理解と対応・保護者への関わり方 令和 5 年度小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会プログラム 等	延べ 27 名

4. その他

・苦情解決

(1) 件数 0件（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(2) 内容 (件)

苦情の内容	5 年度	4 年度
① 虐待・放置・脅迫・搾取に関すること	0	0
② サービス・支援内容に関すること	0	0
③ 個人の嗜好・選択に関すること	0	0
④ 利用者の所持金等に関すること	0	0
⑤ その他	0	0
計	0	0

令和5年度 地域支援センター 事業報告

概説

障害のある方の地域での暮らしを支える組織である地域支援センターでは、13か所のグループホーム運営、ヘルパー派遣、障害者後見的支援室の3つの事業を展開しています。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の類型が2類から5類に引き下げられたことから、グループホーム旅行や外出等、可能な限り利用者の活動を再開したり、職員の訪問や面談の機会を増やしたりしながら、安定運営に努められるようにしました。

事業概要

① グループホーム利用者状況 ※13棟に、68名の利用者が入居中です。

グループホーム歩海が5月に移転をし、定員が68名となりました。

年齢階層	構成(人)	肢体 不自由	自 閉	発 作	障害支援区分					計
	総数				6	5	4	3	2	
総数	68	11	23	20	38	12	15	2	1	68
平均年齢	50.9歳									

② ケアステーション心海

令和5年度は、行動援護従業者養成研修の受講を進め、行動援護事業の稼働時間数を増やしていけるように運営を進めました。

	令和5年度	令和4年度
登録ヘルパー数(人)	26	25
移動介護総稼働時間(h)	2,281.0	1,998.5
行動援護総稼働時間(h)	2,112.0	1,862.0
稼働時間合計	4,393.0	3,860.5

③ 金沢区障害者後見的支援推進事業

登録者への訪問・面談を定期的に行うことで、登録者に寄り沿った運営を行うことができました。

年度	令和5年度	令和4年度
登録者数(人)	94	86

1 重点項目の実施状況

(1) 共同生活支援事業（グループホーム）の支援の充実と安定的運営（継続）

令和5年度は、平成18年に開設したグループホーム歩海につきまして、入居者の高齢化や障害の重度化に伴い、既存の建物では生活しづらくなってきたことから、5月に釜利谷東に新築し移転しました。移転すると同時に、定員4名を5名に変更しました。

また、他のグループホームにおいては、夜間の介護や見守りが多くなってきたため、夜勤職員を増員することにより、安心して生活できるように努めました。そして、令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により日帰り旅行のみに留めていましたが、令和5年度は1泊旅行を再開したことで、入居者の皆様も喜ばれていました。

(2) 心海（ヘルパー派遣事業）の拡大（継続・拡充）

令和5年度は、新型コロナウイルス等の影響は少なからずあったものの、前年度と比べて、利用希望も多く、着実に稼働実績を伸ばすことができました。また、移動支援で経験を積んだガイドヘルパーに行動援護従業者養成研修受講を勧めることで、行動援護の実績を増やすことができました。

また、昨年度に引き続き、ガイドヘルパーの獲得に向けて、「ガイドヘルパー養成研修」を実施し、8名の受講がありました。

（移動稼働時間数）

	令和5年度	令和4年度
利用者数（移動支援）-延人数	919	832
利用者数（行動援護）-延人数	810	773
利用者数合計	1,729	1,605
稼働時間数（移動介護）-時間	2,281.0	1,998.5
稼働時間数（行動援護）-時間	2,112.0	1,862.0
稼働時間数合計	4,393.0	3,860.5

(3) 横浜市後見の支援室・帆海の普及啓発（継続・拡充）

障害のある方の将来について、見守りをしながら一緒に考えていく横浜市独自の制度である後見の支援制度については、登録者が94名となりました。登録者やご家族が安心して話ができるように、支援室内で情報共有や面談の振り返りを行うようにしました。

また、7月と2月に地域での見守りを担っていただく「あんしんキーパー」集う会を実施しました。内容としては、登録者やそのご家族と交流を図るものや勉強会が中心となりました。集う会を開催するにあたり、金沢区内の各地域ケアプラザへ制度の周知活動も行いました。

(4) 地域支援センター内の人材育成の強化＜各事業共通＞（継続）

令和5年度においても、課長補佐・主任をリーダーとして委員会活動を行うことで、リーダーシップを発揮すると同時に、職員間のコミュニケーションの促進と組織化が図

られるようにしていきました。

また、虐待防止委員会については、センター長を中心に虐待防止研修を実施したり、虐待防止や身体拘束廃止に向けたマニュアルを作成したりしながら、職員の人権意識向上に努めました。

【各種委員会の状況】

研修委員会	地域支援センター年間研修計画に沿って、外部研修への派遣（階層別研修、スキルアップ研修、サービス管理責任者等の資格研修など）、および、サポーターズカレッジ受講勸奨をしました。
防災委員会	各グループホームにおける避難訓練、および、センター・グループホーム間での IP 無線を使った通信訓練を実施しました。災害備蓄品として、簡易トイレを各ホームに用意しました。
中長期委員会	個別支援計画等の内容と入力様式の見直しと変更を行うことで、職員の業務改善に繋がりました。
虐待防止委員会 （身体拘束適正化委員会含む）	職員にセルフチェックシートを実施することにより、日々の業務の振り返りを行いました。また、地域支援センターにおける虐待防止研修の実施や虐待防止マニュアル・身体拘束等適正化の指針作成を行いました。
事業担当委員会	クリスマス会の企画や4法人連絡会への参加、ホームページの更新などを進めました。

2 令和5年度 地域支援センター 事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表（3事業の合計）

（単位：円）

	令和5年度	令和4年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	433,078,036	397,699,868	35,378,168	利用者増
経常経費寄附金収益	0	0	0	
サービス活動収益計(1)	433,078,036	397,699,868	35,378,168	
人件費	320,299,306	286,376,604	33,922,702	常勤不足分増員、非常勤職員増員、定期昇給
事業費	78,900,554	72,373,225	6,527,329	歩海移転設備
事務費	23,309,063	20,971,499	2,337,564	歩海移転に伴う旧建物現状回復
減価償却費	2,984,593	3,206,245	△224,652	
国庫補助金取崩額	△1,443,314	△1,619,039	175,725	
サービス活動費用計(2)	424,050,202	381,308,534	42,741,668	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	9,027,834	16,391,334	△7,363,500	
サービス活動外収益(4)	536,262	744,862	△208,600	
サービス活動外費用(5)	1,000	0	1000	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	535,262	744,862	△209,600	
経常増減差額(3)+(6)	9,563,096	17,136,196	△7,573,100	

<資料編>

実施事業（令和6年3月31日現在）

（1）共同生活援助事業（グループホーム） ※国事業

①共同生活援助事業 事業所

R6.3 末現在（ ）は前年度数

	事業所名	定員(人)	現員(人)	所在地	運営開始時期
1	晴海	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成16年4月1日
2	なかなかホーム	5(5)	5(5)	中区本郷町	平成16年4月1日
3	拓海	5(5)	5(5)	金沢区大道	平成17年4月1日
4	歩海	5(4)	5(4)	金沢区釜利谷東	平成18年4月1日
5	希海	5(5)	5(5)	金沢区六浦	平成19年4月1日
6	つばき	6(5)	6(5)	金沢区朝比奈	平成20年10月1日
7	いづみ	5(5)	5(5)	泉区和泉中央北	平成22年4月1日
8	アイリス	5(5)	5(5)	泉区和泉中央南	平成22年4月1日
9	はま風	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成23年3月1日
10	岬	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成24年1月1日
11	灯	6(6)	6(6)	金沢区釜利谷東	平成26年4月1日
12	海翔	6(6)	6(6)	金沢区六浦	平成30年11月1日
13	海来	5(5)	5(6)	金沢区釜利谷東	令和5年2月1日
合 計		68(67)	68(67)		

②利用者状況

R6.3 末現在（ ）は前年度実績

	事業所名	構成(人) 総数	平均 年齢 (歳)	肢 体 不 自 由	自 閉	発 作	障害支援区分					
							6	5	4	3	2	平均
1	晴海	5	58.0 (57.0)	0	2	1	2	1	2	0	0	5.0 (5.0)
2	なかなか ホーム	5	49.2 (48.2)	1	1	1	1	2	2	0	0	4.8 (5.0)
3	拓海	5	53.0 (52.0)	1	2	0	4	1	0	0	0	5.8 (5.8)
4	歩海	5	57.2 (60.5)	1	0	1	3	2	0	0	0	5.6 (5.7)
5	希海	5	49.6 (48.6)	1	2	1	3	2	0	0	0	5.6 (5.6)

6	つばき	6	54.3 (53.3)	1	1	3	2	1	2	1	0	4.7 (4.4)
7	いづみ	5	42.4 (41.4)	0	3	1	3	0	2	0	0	5.2 (5.2)
8	アイリス	5	52.2 (51.2)	2	0	2	0	1	3	0	1	3.8 (4.0)
9	はま風	5	53.2 (52.2)	0	1	2	4	1	0	0	0	5.8 (6.0)
10	岬	5	45.2 (44.2)	2	2	4	4	0	1	0	0	5.6 (5.6)
11	灯	6	61.8 (59.0)	2	0	1	3	1	2	0	0	5.2 (5.3)
12	海翔	6	40.5 (39.5)	0	4	2	4	0	1	1	0	5.2 (5.0)
13	海来	5	43.8 (42.8)	0	5	1	5	0	0	0	0	6.0
総数		68(67)	50.8 (49.9)	11	23	21	38 (40) (56%)	12 (11) (18%)	15 (12) (22%)	2 (3) (3%)	1 (1) (1%)	5.2 (5.3)

③利用者年齢階層

R6.3 末現在

年齢階層	構成（人） 総数	肢体 不自由	自 閉	発 作	障害支援区分					計
					6	5	4	3	2	
19 以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	3	0	3	0	0	0	2	1	0	3
30～39	5	1	2	3	3	1	1	0	0	5
40～49	24	4	9	6	16	3	4	0	1	24
50～59	25	4	9	12	15	5	4	1	0	25
60 以上	11	3	0	0	4	4	3	0	0	11
総数	68	12	23	21	38	13	14	2	1	68
平均年齢	50.8 歳									

＊利用者の障害支援区分は、最重度(区分6及び5)の利用者が全体で75.0%。

(前年度は76%、前々年度は74%。)

＊利用者の平均年齢は 50.8 歳。(前年度は 49.9 歳)

＊歩海が令和5年5月に移転し、定員4名が5名となり、新たに1名が入居した。

(2) 行動援護事業、横浜市移動支援事業

① 行動援護事業

*国事業

R6. 3 末現在 () は前年実績

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者数	人	25	26	26	26	26	27	28	28	28	28	29	30	30
R5.3.31(22)		+3	+1	0	0	0	+1	+1	0	0	0	+1	+1	+8
延べ稼働 利用者数	人	66	61	62	68	63	69	74	62	74	60	64	87	810
		(65)	(66)	(67)	(62)	(53)	(59)	(73)	(70)	(62)	(62)	(65)	(69)	(773)
稼働 時間数	時 間	164.0	161.0	159.0	196.0	154.0	169.0	183.0	168.0	193.0	145.0	183.0	237.0	2,112.0
		(149.0)	(166.0)	(163.0)	(162.0)	(125.0)	(145.0)	(177.0)	(163.0)	(142.0)	(152.0)	(162.0)	(156.0)	(1,862.0)

② 横浜市移動支援事業

*横浜市事業

R6. 3 末現在 () は前年実績

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者数	人	62	64	64	64	64	65	65	65	65	65	65	65	65
R5.3.31(66人)		-4	+2	0	0	0	+1	0	0	0	0	0	0	-1
延べ稼働 利用者数	人	93	85	75	74	60	73	75	72	76	79	75	82	919
		(75)	(76)	(69)	(77)	(49)	(65)	(77)	(63)	(62)	(68)	(64)	(87)	(832)
稼働 時間数	時 間	230.0	207.0	185.0	172.0	158.5	202.0	183.0	174.0	173.0	197.5	194.0	205.0	2,281.0
		(178.0)	(191.0)	(146.0)	(171.0)	(116.0)	(153.0)	(187.0)	(143.0)	(167.0)	(183.0)	(152.0)	(211.0)	(1,998.5)

③ 登録ヘルパー

R6. 3 末現在 () は前年実績

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総登録者数	人	25	25	25	25	24	24	26	27	27	26	26	26	26
R5.3.31(26人)		-1	0	0	0	-1	0	+2	+1	0	-1	0	0	0
行動援護ヘルパー	人	13	14	14	14	14	16	16	18	18	18	19	19	19
R5.3.31(14人)		-1	+2	0	0	0	+5	-1	-1	+3	-1	+2	-1	+7
移動支援ヘルパー	人	23	22	20	20	17	21	22	22	22	21	23	22	22
R5.3.31(21人)		+2	-1	-2	0	-3	+4	+1	0	0	-1	+2	-1	+1

(3) 障害者後見の支援推進事業（金沢区障害者後見の支援室 帆海）

①相談受付・訪問

R6. 3 末現在 () は前年実績

内 容		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
制度案内	件	2	4	3	3	4	2	5	4	3	4	3	3	40
		(1)	(0)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(3)	(3)	(3)	(4)	(5)	(25)
継続相談		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(14)
他制度紹介		1	1	1	0	2	1	0	1	0	0	0	1	8
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(4)
登録者訪問・ 面談		50	45	55	51	45	55	55	53	47	46	49	54	605
その他		0	1	2	4	1	0	4	4	0	2	1	2	21
計		54	52	62	59	53	59	65	63	51	53	54	61	686

②登録者数（実人数）

R6. 3 末現在

内 容	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者	人	87	87	89	88	89	89	89	90	89	91	92	94	94
R5.3 (86 人)		+1	0	+2	-1	+1	0	0	+1	-1	+2	+1	+2	+8

※令和 5 年度は新規登録者が 10 名、登録解除者は 2 名。

③周知活動

R6. 3 末現在 () は前年実績

内 容		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
制度説明	件	0	0	0	3	0	0	4	3	5	2	0	1	18
		(0)	(0)	(3)	(0)	(0)	(1)	(0)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(7)
関係施設等 訪問	件	0	1	2	5	1	0	3	3	2	2	0	0	19
		(2)	(1)	(0)	(0)	(2)	(2)	(1)	(3)	(1)	(0)	(0)	(1)	(13)
計		0	1	2	8	1	0	7	6	4	4	0	1	34

(4) その他

①事故件数

ア. 行動援護事業・横浜市移動支援事業（ケアステーション心海）（ ）前年度実績

ヘルパー派遣ミス	誤与薬・怠薬	利用者金銭紛失	転倒	所在不明
0 (0)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)

イ. 共同生活援助事業

() 前年度実績

①転倒		②外傷		③誤与薬・怠薬		④その他		
通院あり	様子観察	通院あり	様子観察	怠薬	誤与薬	入院	破損	紛失
1 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	5 (4)	0 (4)	5 (4)	1 (1)	0 (0)
1 (3)		1 (0)		5 (8)				

※事故件数は7件で、怠薬が過半数に達していた。事故後、事故報告を基にした原因分析を行い、改めて服薬マニュアルの確認を行うなどの再発防止に努めた。

②苦情解決（地域支援センター全体）

・苦情件数 3 件（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

・苦情内容

苦情の内容	5 年度	4 年度
① 虐待・放置・脅迫・詐欺に関すること		
② サービス・支援内容に関すること	3 件	1 件
③ 個人の嗜好・選択に関すること		1 件
④ 利用者の所持金に関すること		
⑤ その他		
合計	3 件	2 件

令和 5 年度 釜利谷地域ケアプラザ 事業報告

概説

新型コロナウイルス感染症も 5 類に移行したことで、4 年間中断していた行事やお祭りなど無事再開され、活気を取り戻した一年となりました。一方で地域のサロンや活動は高齢化や担い手不足から解散するなどの現状もあり、課題を共有しながら地域に寄り添った支援を行いました。

令和 5 年 3 月に地域包括支援センターの担当圏域の変更があり、新しいエリアからの相談も増えてきました。相談しやすい関係を作るために窓口の周知や情報収集をはじめ、自治会関係者とのやり取り、地域への訪問などを重点的に行ってきました。

通所介護では令和 6 年 1 月末に事業を終了した「やまゆり」から利用者が数名移行したことや、経営改善に向けて計画的な取り組みと振り返りを続けてきた結果、年度後半からは利用者数が増加し、年間の利用者数もコロナ以前の数字に近づきつつあります。

1 重点項目の実施状況

(1) 地域活動交流事業

中高年を対象とした取り組みとして、定例の事業に加え「釜利谷の歴史を探る会」「1970 年代・80 年代に旅をしよう」など、共通の興味を通じて、普段の生活では知り合うことのない人との出会いやつながりをつくりました。こども・養育者向けの取り組みとしては、気軽に参加できる環境を整えたことで、コロナ以前よりも参加者が増え、養育者同士の交流の機会が増えています。また、障がい児者向け事業では、コロナ禍で休止していた「かまりやボランティアポイント“ひこうき”」を再開し活動に繋がりました。

(2) 地域包括支援センター事業

引き続き新型コロナウイルス感染症防止に留意しながら総合相談を行いました。それに加え、権利擁護関連や介護予防等の各種事業も積極的に実施しました。

地域ケア会議では、各専門職や支援者にも参加を呼びかけ、昨年度に引き続き 8050 問題（80 代の親と 50 代の子が孤立することで生じる生活問題）の事例を取り上げ、“8050 問題を抱える世帯を想定した相談先がわかるリスト”を活用した取り組みについて検討しました。また、終活に関する講座を金沢区内のケアマネジャー・民生委員児童委員などの支援者向けに実施し、終活関連の相談を受けた時、必要に応じて支援機関に結び付けることが出来るようにしました。

総合相談件数

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和 5 年度	2,159	337	207	2,703
令和 4 年度	2,205	402	337	2,944
増減	△46	△70	△130	△241

（３）生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）

地域で開催しているサロンや活動に積極的に参加し、活動内容や地域の課題などを聞き取り、ケアプラザ内の各部署で共有して必要な支援につなげました。

地域ではケアプラザの役割を知らない方が多く、気軽に相談できる場所であることを周知しました。定期的にサロン等に顔を出すことで顔なじみの関係ができ「ケアプラザを身近に感じられて安心する」と喜ばれています。特に令和５年度３月の圏域変更によって加わった地域とは、町内会長との面談や活動内容の共有など連携を密に行い、相談しやすい関係性づくりに努めました。

釜利谷エリアの地域活動の情報冊子とお買い物の情報冊子を更新し、地域の民生委員やケアマネジャー事業所を訪問して配布しました。また横浜市が推進している情報ソフトへの情報整理を進め、住民の方が活用できる情報をまとめ、インフォーマルサービスの活用をしやすいしました。

（４）委託部門連携事業（地域活動交流、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業）

委託３部門５職種が連携し、課題の共有と解決に向けた取り組みを行いました。令和５年度は幅広い世代に認知症の理解を広めるため、小学生と保護者向けの「夏休み認知症サポーター養成講座」を開催しました。認知症カルタや紙芝居を用いて子どもが興味関心を持ちやすい内容にしたことで、参加者からは「難しい説明よりもカルタの方がわかりやすかった」「楽しく学べた」などの感想をいただきました。また、地域の方が初めて自主開催する「子ども会向け認知症サポーター養成講座」の支援を行い、自信を持って講座を開催できるようにしました。

前年度に引き続き「見守り活動・支えあい活動」「心の支援」を目的とした、年代を問わず参加できる事業を多く行うことで多世代交流にも努めました。

（５）指定居宅介護支援事業（介護予防・総合事業を含む）

病気や認知症になっても地域の一員として住み慣れた家でその人らしい生活が続けられるように、介護を受ける本人だけでなく、介護する家族への支援も意識して行いました。家族に寄り添って話を聞いたり、抱え込まないよう様々なサービスや制度につなげたりと介護負担を減らすことで介護離職の防止や在宅介護の継続に繋がりました。

様々な相談に適切な対応ができるように、疾患や制度などの知識を深め、また多職種とスムーズに連携できるように地域の研修にも多く参加しました。

「何度も詐欺被害に遭っている」「介護放棄」「在宅で看取り希望」など支援が難しい方について、地域包括支援センターやデイサービスなどケアプラザ内で連携・協力して支援しました。

【居宅介護支援事業の状況】

●一人当たりの担当件数の上限は介護・予防合わせて39件

●1 か月あたりの上限件数は 4 月～7 月 109件 8月から148件（ケアマネジャー入職）

介護ケアプラン作成数（要介護1～5）	1,374 件（前年度比 △123 件）
介護予防ケアプラン作成数（要支援1～2）	320 件（前年度比 △50 件）

（6）デイサービス事業

「毎日来ても楽しいデイサービス」を目標に、竹の子広場までの歩行訓練、脳活性のための段ボール和太鼓など釜利谷ならではのプログラムをはじめ、多くの方が楽しんでいただけるようなイベントを企画、開催し、それらの情報を広報紙やホームページ、釜利谷新聞などを活用して広く周知を行いました。また月に2回ケアマネジャーの事業所を訪問して、こまめな報告と情報発信を行い、相談しやすい関係の構築に努めた結果、新規利用者数が例年の1.5倍以上となり、利用者増に繋がりました。

本人・家族がデイサービスに求めていることを個々に汲み取り、寄り添うよう努めました。介護を行っている家族も大切に、介護の悩みを気軽に相談できる相手として家族支援を行い、信頼関係の構築に努めました。その結果、すぐに施設入所ではなく家での暮らしを長く続けられたり、また長期入院後の状態変化により不安があっても、退院後デイサービスを再開することで安心して生活が続けられたりと、本人が望む在宅生活の維持に貢献できました。今後も、地域にあって良かったと思っていただけるようなデイサービスの運営をめざしていきます。

認知症対応型通所介護「やまゆり」は、本人・家族に寄り添い安心して日々を過ごすことが出来るよう関係機関と協力して支援を行いました。1 月末に業務を終了するにあたって、受け入れ先のデイサービスやケアマネジャーと密に連携を取り、出来る限り不安を少なく移行できるようにその方の状態に合わせた引継ぎを行いました。

	延べ利用者数	前年度比	平均利用者/日
通所介護事業	9,598 人 (9,462 人)	136 人	26.7 人 (27)
認知症対応型やまゆり	1,779 人 (2,416 人)	△637 人	6.9 人 (7.8)

（ ）内は前年度実績 【やまゆり：令和5年4月～令和6年1月】

2 令和5年度 釜利谷地域ケアプラザ 事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

(単位：円)

	令和5年度	令和4年度	増減	備考
介護保険事業収益	189,113,299	193,994,529	△ 4,881,230	ケアプラン作成件数減、補助金の減、利用者介護度の軽度化
サービス活動収益計(1)	189,113,299	193,994,529	△ 4,881,230	
人件費	142,713,284	149,874,618	△ 7,161,334	事務職、ケアマネ等不在による実行減
事業費	21,112,471	21,683,698	△ 571,227	送迎車両減車によるガソリン代等実行減
事務費	28,907,779	32,800,649	△ 3,892,870	水道光熱費等実行減
減価償却費	1,626,110	1,796,757	△ 170,647	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 78,659	△ 78,659	0	
サービス活動費用計(2)	194,280,985	206,077,063	△ 11,796,078	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 5,167,686	△ 12,082,534	6,914,848	
サービス活動外収益計(4)	869,762	1,528,082	△ 658,320	
サービス活動外費用計(5)	580,650	580,425	225	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	289,112	947,657	△ 658,545	
経常増減差額(3)+(6)	△ 4,878,574	△ 11,134,877	6,256,303	

経常増減差額が△4,878千円でした。これは、支出について職員不在による人件費実行減、水道光熱費等の実行減が大きく経費削減となりましたが、収入についてケアマネジャーの不在による減収及びデイサービスの日々の利用者数が目標に達しなかったことに加え、利用者の介護度の軽度化等が主な要因です。

またデイサービスの今後の取り組みとしては、利用終了者を上回る新規利用者獲得のための営業努力を継続するとともにサービスの質の向上を図るため、個別機能訓練に加え口腔ケアを開始します。更に職員の業務効率改善の為、ソフトの導入を進め、新たな加算取得を進め増収に努めます。

事業活動収支総括表（やまゆり）

（単位：円）

	令和5年度	令和4年度	増減	備考
介護保険事業収益	27,207,947	38,685,901	△ 11,477,954	利用者数617名減、 閉鎖に伴う新規契約停止等
サービス活動収益計(1)	27,207,947	38,685,901	△ 11,477,954	
人件費	29,498,573	33,393,346	△ 3,894,773	1月閉鎖に伴う実行減
事業費	9,311,287	10,500,284	△ 1,188,997	1月閉鎖に伴う実行減 （光熱費給食費）
事務費	1,888,322	1,842,708	45,614	リース物件返還手数料、 機器処分費
減価償却費	0	17,451	△ 17,451	
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	△ 17,451	17,451	
サービス活動費用計(2)	40,698,182	45,736,338	△ 5,038,156	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 13,490,235	△ 7,050,437	△ 6,439,798	
サービス活動外収益計(4)	472,806	576,913	△ 104,107	
サービス活動外費用計(5)	472,800	566,400	△ 93,600	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	6	10,513	△ 10,507	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 13,490,229	△ 7,039,924	△ 6,450,305	

＜資料編＞

1 事業別報告

事業内容

(1) 地域活動交流事業

広報紙及びチラシの発行

	広報紙		チラシ		配布先
令和5年度	4回	6000枚	7回	10500枚	各町内会・関連機関に配布
令和4年度	4回	6000枚	7回	10500枚	

貸館利用状況

件数 (単位：件)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5 合計	R4 合計	前 年 比
多目的	午 前	18	16	18	18	17	19	18	14	18	15	14	16	606	606	0
	午後1	16	18	18	18	17	23	21	23	19	19	18	22			
	午後2	12	13	13	12	10	18	15	20	14	13	14	19			
	夜 間	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
調理室	午 前	10	12	10	10	12	12	13	13	12	10	9	11	382	373	9
	午後1	12	14	16	12	14	15	15	17	14	14	13	14			
	午後2	3	6	9	5	4	8	6	11	5	7	5	8			
	夜 間	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
ボラ	午 前	13	9	10	11	11	12	12	10	13	11	12	14	392	352	40
	午後1	13	13	9	13	11	12	14	12	14	13	17	13			
	午後2	8	6	6	11	5	10	12	11	10	10	14	14			
	夜 間	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0			
合 計		105	107	110	110	102	131	126	131	119	112	116	131	1380	1331	49

稼働率 (単位：％)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5 平均	R4 平均	前 年 比
多目的	午 前	62	53	62	60	57	66	60	48	67	54	50	53	58	56	2
	午後1	55	60	62	60	57	79	70	79	70	68	64	73	67	69	△2
	午後2	41	43	45	40	33	62	50	69	52	46	50	63	50	49	1
	夜 間	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理室	午 前	34	40	34	33	40	41	43	45	44	36	32	37	38	38	0
	午後1	41	47	55	40	47	52	50	59	52	50	46	47	49	48	1
	午後2	10	20	31	17	13	28	20	38	19	25	18	27	22	21	1
	夜 間	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア	午 前	45	30	34	37	37	41	40	34	48	39	43	47	40	37	3
	午後1	45	43	31	43	37	41	47	41	52	46	61	43	44	38	6
	午後2	28	20	21	37	17	34	40	38	37	36	50	47	34	27	7
	夜 間	0	0	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	1	0	1

利用人数 (単位：人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5 合計	R4 合計	前 年 比
	689	663	637	620	664	757	1153	710	709	641	712	766	8,721	7,415	1,306

事業等実施状況

※地域・関係団体等との共催を含む

		開催数	延参加者数	主 な 内 容
中高年	R5	31	430	体操教室、歌、手芸サロン、70年代を楽しむサロン
	R4	28	321	
	前年比	3	109	
子ども・養育者小学生	R5	48	837	親子体操、おはなし会、プラレール、英語遊び
	R4	52	581	
	前年比	△4	256	

障がい児者・家族	R5	17	35	英会話、ボランティアポイント
	R4	13	46	
	前年比	4	△11	
地域交流・健康づくり等	R5	24	195	ヨガ教室、歴史講座、ドッグセラピー、医療講演会
	R4	27	298	
	前年比	△3	△103	
ボランティア	R5	5	47	大学生向けボランティア講座、地域支援団体交流会 シニアボランティア登録研修会
	R4	7	82	
	前年比	△2	△35	

(2) 地域包括支援センター事業

① 総合相談支援事業

ア 総合相談件数

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和5年度	2,159	337	207	2,703
令和4年度	2,205	402	337	2,944
増減	△46	△70	△130	△241

イ 総合相談内容の内訳（電話・来所の主な内容）内訳

	令和5年度	令和4年度	増減		令和5年度	令和4年度	増減
介護保険	1,617	1,962	329	医療（※認知症以外）	441	258	183
介護予防事業	174	103	81	施設入所・入院	290	391	△101
行政サービス	50	40	19	日常生活課題	747	419	328
インフォーマルサービス	104	139	36	苦情	10	17	△7
その他制度・サービス等	106	159	51	成年後見制度・消費者保護	200	194	6
認知症（BPSD）	98	175	△69	虐待	35	47	△12
認知症（医療）	139	82	△60	その他	223	314	△91
介護（※認知症以外）	33	65	△72	合計	4,267	4,365	△98

② 権利擁護事業

ア 権利擁護に関する相談 235 件（延べ件数）

- ・成年後見制度に関する相談
（本人家族やケアマネジャーに対して制度説明、申立支援。後見人がつくまでの対応、後見人がついたあとのフォロー、終活や任意後見について説明等）
- ・消費者被害に関する相談（特殊詐欺・リフォーム詐欺等の相談等）
- ・高齢者虐待相談対応（本人、親族、ケアマネジャー、事業所からの報告に基づき、訪問確認や区への通報、カンファレンスの開催等）

イ 権利擁護事業等に関する業務

- ・区主催の成年後見サポートネットワーク事業に参加

- ・区主催の高齢者虐待防止連絡会（年１回）に参加
- ・成年後見制度、高齢者虐待防止、消費者被害防止のチラシ・リーフレットを配布、ケアプラザ内に掲示し呼びかけ
- ・各出張講座等で成年後見制度の説明・独自で作成したチラシの配布

＜自主事業＞

- ・成年後見制度について…「行政書士による無料個別相談会」を開催。「支援者向け相談を受けた時の為に終活に必要なことを学ぶ講座」を実施。
- ・消費者被害防止について…「くらしの教室」では、阿王ヶ台シニアクラブ・宿町内会に向けて介護保険等の説明を実施。「あんしんして暮らすための１０分講座」では、ミニ講座を実施。「ちょっとおじゃまします」では、町内サロンにてミニ講座を実施。
- ・高齢者虐待防止について…早期発見、対応方法等について広報紙にて周知。
- ・介護者のつどい…年６回実施。フリートーク５回と、特別企画「認知症予防講演会」を実施。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ア 担当エリア内のケアマネジャーからの相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5年度	30	25	23	19	21	22	28	25	30	26	24	13	286
R4年度	30	39	47	41	30	24	30	28	27	28	19	24	367
増減	0	△14	△24	△22	△9	△2	△2	△3	3	△2	5	△11	△81

イ 事業等取り組みについて

- ・金沢区薬剤師会・包括主任ケアマネ部会・金沢ケアマネ倶楽部・区役所・在宅医療連携室と共催「包括ケアシステムに薬剤師とケアマネと連携について学ぶ勉強会」講義「レカネマップ登場から見る認知症の薬について」と事例を参考にグループワークを行った。
- ・包括レベル地域ケア会議２回開催。テーマ『「８０５０問題を想定した相談先がわかるリスト」を活用した連携」活用方法や感想を共有し連携を深める会議を開催。テーマ「支援者向け相談を受けた時の為に終活に必要なことを学ぶ講座」。成年後見制度の相談が増えており釜利谷エリアの支援者向けに、支援者が説明できるような知識を得る機会で作りとともに学びを深めた。
- ・金沢区内の新任ケアマネジャー対象に区主任ケアマネ部会として研修を３回開催
- ・金沢区南部「５地域包括支援センター」の主任ケアマネ部会共催で、事例検討会を１０月に開催。自立支援費協議会・計画相談事業所連絡会と「それぞれに支援が必要は「９０６０」問題の事例検討会を１回開催した。
- ・地域密着型サービス運営推進会議の定期的な開催が必要とされる 11 施設の運営

推進会議に出席し、必要に応じて包括から情報提供を実施。

- ・民生委員児童員とケアマネジャーとの情報交換会を2回に分け開催。
地域の情報交換や地域資源の情報提供など、ネットワーク構築が図れた。

④ 介護予防支援事業

ア 介護予防普及啓発事業（65歳以上のすべての高齢者）への取り組み

- ・今から役立つ健康講座【前期】ボッチャ2回＋高齢者の熱中症予防
- ・金沢区オリジナル体操講演会
- ・今から役立つ健康講座【後期】ロコモ＋歩き測定、口腔、栄養

イ 地域介護予防活動支援事業への取り組み

- ・元気アップ認知症講座～シナプソロジーで脳もからだも元気アップ～
- ・認知症予防講演会
- ・やまゆり＆禅向け「フレイル予防ミニ講座」
- ・元気づくりステーション「阿王ヶ台スマイル」「かまりや太極拳」を区役所と共に継続支援。
- ・地域のサロンや定例会に積極的に出席し、介護予防の普及啓発を実施。
- ・地域のサロンでニーズに合った介護予防講座を実施。

ウ その他

- ・広報誌やまなみやSNS等で介護予防について情報周知を行った。

⑤ 介護予防ケアマネジメント事業

ア 包括支援センター担当件数(給付管理票作成件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5年度	88	80	79	82	82	83	82	79	80	81	84	88	988
R4年度	85	81	84	83	84	86	88	83	78	80	76	80	988
増減	3	△1	△5	△1	△2	△3	△6	△4	2	1	8	8	0

※ 包括支援センター担当件数とは、包括支援センターでケアプラン作成した件数

イ 委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5年度	236	227	235	233	233	237	238	240	236	233	231	225	2,804
R4年度	205	200	203	209	204	201	206	204	206	203	209	229	2,479
増減	31	27	32	24	29	36	32	36	30	30	22	△4	325

※ 委託件数とは、包括支援センター以外の居宅介護支援事業所に委託契約を行い、介護支援専門員がケアプラン作成した件数。

⑥ 認知症関連事業（地域活動交流・生活支援体制整備事業共催）

- ・認知症サポーター養成講座…計2回実施。1回は釜利谷エリア認知症キャラバン・

メイト交流会主催で、小学校中学年・高学年向けに開催。もう 1 回は、保健活動推進委員向けに開催。

- ・認知症キャラバン・メイト支援…包括エリア内の「釜利谷認知症キャラバン・メイト交流会」を開催し、情報交換や日頃の悩みの話し合いを行い、初めてメイトの子供会向けの開催企画の協力を行った。また、キャラバン・メイトからの希望により「キャラバン・メイト向け勉強会」を開催。
- ・かまりやサロン…認知症の人と家族が共に安心して過ごせる居場所（認知症カフェ）、家族の交流場として釜利谷地域ケアプラザにて月 1 回ペースで継続実施。今年度 12 回開催し、毎回 10 名前後の参加。12 月はクリスマス会を企画し、当時者の方々が豆を挽き入れて下さったコーヒーで和やかな時間を共有できた。

⑦ その他

- ・「パーキンソン病交流会」（西金沢 CP と共催）は、年 2 回開催。釜利谷 CP 担当では「パーキンソン病のおくすりの話」10 月に開催。泥亀薬局薬剤師より薬の講義、グループワークにて情報交換や共有の機会を設けた。
- ・「エンディングノートの使い方&医療・ケアについての「もしも手帳」について」（地域活動交流・生活支援体制整備事業共催）の講演会を実施。

（３） 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）

① 地域との関係性の構築

- ・再開しているサロンには感染予防を徹底しながら少しでも顔を出し、地域の方との関係性の構築に努めました。
- ・シニアクラブ釜利谷第一支部友愛部会の定例会に出席し、また、令和 5 年度金沢区シニアクラブ連合会の友愛活動委員研修会で「認知症の予防及び対応について」の事例報告をしました。

② 各主体間のネットワークの構築

- ・地域の方と地域の現状についての情報交換やオンラインの有用性について話し合う機会として、地域活動交流と共催で、「Zoom」でどうも！を 3 か月に一回、オンラインで開催しました。

③ 資源開発等

- ・「釜利谷みんなの情報シート」を更新し、生活支援・介護予防に関する啓蒙・啓発をしました。
- ・「釜利谷みんなのお買い物情報」の更新及び地域の民生委員やケアマネジャーへ配布（地域包括支援センターとの共催）をしました。

(4) 委託部門連携事業（地域活動交流、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業）
委託３部門５職種が連携し、課題の共有と課題解決に向けての取り組みを行いました。

	開催数	延参加者数	主 な 内 容
地域支えあい連絡会	3	72	情報交換、ミニ講座（ゴミの出し方、消防団）
心の支援	1	2	グリーフケア
認知症	13	122	認知症サポーター養成講座、認知症カフェ、キャラバン・メイト交流会
福祉保健・暮らし等	24	355	エンディングノート説明会、消費者被害啓発 暮らしの講座
かまもりホルダー	新規受付 35 人		

(5) 居宅介護支援事業

① 認知症に対する取り組み

認知症が進行してしまった方も地域の一員として住み慣れた家で暮らし続けることができるように、ご家族、近隣住民、サービス事業所等と連携して支援しました。

② ケアプラザの居宅介護支援事業所ならではの取り組み

早期の退院や在宅での看取りなど医療ニーズの高い方や、行政・地域包括支援センター等と協働が必要な方の緊急の支援の方も受け入れ、地域ケアプラザのケアマネジャーとして地域に密着した活動を行うよう努めました。また、デイサービスと連携・協働してスムーズな利用に結び付けることで本人の健康維持や家族負担の軽減、在宅介護の継続につなげることができました。

③ 家族まるごと支援への取り組み

利用者本人のみではなく取り巻く家族の生活も大切に、無理せず介護を続けられる環境を作りに関係機関と連携し取り組みました。

④ 事業内容

ア 介護・予防・総合事業計画（ケアプラン）作成

利用者本人の身体状況、利用者を取り巻く家族や住環境などを総合的に評価した上で「要介護状態になるのを予防する」「要介護状態になっても自分でできることを増やす」を第一に考え、関わっている他の専門職の意見も積極的に取り入れた適切な提案やアドバイスをを行い、利用者や家族と一緒に考え、話し合いながら「居宅サービス計画」「介護予防サービス計画」「介護予防ケアマネジメント」を作成しました。

イ 特定事業所加算の算定

4月～7月 特定事業所加算Ⅲ（一名欠員のため）

8月～ 特定事業所加算Ⅱ

ウ 権利擁護・虐待防止

「自己決定」「利用者本位」を尊重し、時には本人・家族の代弁者となり権利擁護に努め、虐待の早期発見にも関係機関と連携して取り組みました。

エ 信頼される事業所を目指した取り組み

○知識・技術の向上とネットワーク構築

多方面に渡る相談に適切に対応できるよう積極的に研修等に参加し質の向上を目指しました。また地域の関係機関とのネットワーク構築を行い、地域で信頼される事業所作りに取り組みました。

○定期的な会議や事例検討

担当ケアマネジャー不在時も迅速に対応できるよう情報共有の会議を定期的に行いました。事例検討会も随時行い、悩んでいることを事業所全体で考えられることでより公平で質の高いケアマネジメントを行えるよう努めました。

介護ケアプラン作成数（要介護1～要介護5判定の方）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5年度	118	114	113	113	111	109	112	114	119	117	116	118	1374
R4年度	122	126	129	122	125	126	126	125	131	126	120	119	1497
増減	△4	△12	△16	△9	△14	△17	△14	△11	△12	△9	△4	△1	△123

※ 特定事業所加算は介護のケアプランのみ算定ができる。

※ 4月～7月、特定事業所加算Ⅲ（1件あたり3,436円）

※ 8月からは、特定事業所加算Ⅱ（1件あたり4,526円）

介護予防ケアプラン作成数（要支援1～要支援2判定の方）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5年度	25	25	25	24	25	26	29	30	28	27	26	30	320
R4年度	36	33	33	33	33	33	31	29	29	28	27	25	370
増減	△11	△8	△8	△9	△8	△7	△2	1	△1	△1	△1	5	△50

※ 4月～7月の常勤換算 一か月あたり109件が上限（介護、予防含む）

※ 8月からの常勤換算 一か月あたり148件が上限（介護、予防含む）

金沢区等委託契約による介護認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5年度	5	8	6	4	5	3	3	5	5	2	3	3	52
R4年度	10	12	9	24	7	9	2	8	6	2	7	5	101
増減	△1	△5	2	12	△6	△5	△7	△6	△3	△14	△4	△8	△45

(6) デイサービス事業（指定通所介護事業、横浜市通所介護相当サービス）

プログラムやレクリエーションの内容を見直し、利用者が中心となる活動を取り入れました。思い出話サークル（回想法）、おやつ作りサークル、シルクフラワーアレンジメントなど、利用者の自主性や個性を引き出すことができました。「竹の子広場」までの歩行訓練では、広い敷地を活用して普段外出できない方も無理なく安全に歩行することができ「花を見に行く」という目的を持って歩行が出来ることで利用者の新たな楽しみとなりました。日々の活動内容を広報紙、ホームページ、釜利谷新聞などを利用して情報発信し、活動を広く周知することで利用者獲得につなげることができました。

① 営業日 359日

休業日 10月1日（すみなすフェスタ）

12月29日～1月3日（年末年始） 計7日休業

② 利用者数 通所介護相当サービス利用者数 年間 1,068名

通所介護利用者数 年間 8,530名

③ 加算

- ・入浴介助加算 ・個別機能訓練加算Ⅰ（イ） ・運動器機能向上グループ加算
- ・サービス提供体制強化加算（Ⅰ） ・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
- ・介護職員特定処遇改善加算（Ⅰ） ・通所介護ベースアップ等支援加算

④ サービス内容

ア 活動

竹の子広場への歩行訓練、ドッグセラピー、シルクフラワーアレンジメント、おやつ作りサークル、思い出話サークル（回想法）、ゆったりカラオケ、音楽レクリエーション、午後のコーヒー、段ボール和太鼓、スパ釜利谷（変わり風呂とお楽しみランチ）、アロマ、脳活（計算）など、日々のプログラムを充実させることで「毎日来て楽しいデイサービス」を目指しました。

今年度から再開した「おやつ作りサークル」では、ホットプレートを用いた簡単なおやつを一緒に作ることで、自分でできることを実感し自信に繋がったり、子どもと作った時の思い出を話されたりと和やかな雰囲気を楽しんでいただきました。

イ 生活機能向上活動

ご利用者の生活機能向上を目的として「洗濯物干し・洗濯物たたみ」などの日常生活上の活動を取り入れ、職員がサポートしながら実施しました。

ウ 行事

季節のイベント、敬老会・クリスマス会・利用者大忘年会を実施し気持ちが明るくなれる行事を行いました。年末最終日の「利用者大忘年会」は、職員の余興（時代劇・悪は許さん！！など）で1年を締めくくりました。

エ 食事

毎日の昼食の写真をSNSに載せています。利用者の家族がどんなものを食べたか把握できて良いとの声を頂きました。

イベント食の日には、トレーにランチョンマットを敷いて雰囲気を出し、利用者に満足頂ける食事の提供に努めました。

おやつイベントでは近隣のケアマネジャーを招待して「ケーキバイキングと挽きたてコーヒー」を開催しました。利用者が豆を挽いて淹れた珈琲と、ワゴンで運ばれてきたケーキをバイキング形式で選び、利用者と一緒に楽しんでいただきました。竹の子広場の見学も行い、ケアプラザの雰囲気を知ってもらう良い機会となりました。

⑤ 通所介護事業・介護度別利用状況（R5年4月～R6年3月） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援1	13	12	12	13	20	24	24	24	23	27	25	31	248	106	142
要支援2	76	77	71	69	53	50	56	63	65	72	80	88	820	781	39
要介護1	192	209	208	226	245	243	224	245	233	198	245	248	2,716	2,479	237
要介護2	268	249	257	273	285	283	256	242	239	233	263	279	3,127	3,200	△ 73
要介護3	142	130	150	162	161	118	156	166	152	148	159	153	1,797	1,841	△ 44
要介護4	74	82	48	52	30	38	40	49	45	57	73	61	649	817	△ 168
要介護5	18	18	14	5	23	23	21	19	25	24	24	27	241	238	3
総数	783	777	760	800	817	779	777	808	782	759	869	887	9,598	9,462	136
実施日数	30	31	30	31	31	30	30	30	28	28	29	31	359	349	10
平均利用者数/日	26.1	25.1	25.3	25.8	26.4	26.0	25.9	26.9	27.9	27.1	30.0	28.6	26.7	27.1	△ 0.4

（認知症対応型通所介護 「やまゆり」）

認知症対応型通所介護「やまゆり」は、本人・家族に寄り添い安心して日々を過ごすことが出来るよう関係機関と協力して支援を行いました。1月末に業務を終了するにあたって、受け入れ先のデイサービスやケアマネジャーと密に連携を取り、少しでも不安を少なく移行できるよう努めました。

① 営業日 259日

休業日 日曜日及び12月31日～1月3日（4日間）

1月31日で営業を終了しました。

② 利用者数 年間 1,779 名

③ サービス内容

ア 活動

敷地内の畑でさつまいもやトマトを栽培し昼食時に提供したり、スイカ割りや梅ジュースづくり、施設前で七輪を使ってサンマを焼くなど季節感を味わえるレクリエーションを多く行いました。

少人数制のプログラムを多く取り入れるなど、3 密を防ぐ取り組みを行いました。

イ 運営推進会議

感染症拡大防止の為、書面開催としました。

ウ 機能訓練

季節の行事による工作活動などのプログラムを実施しました。

エ 食事

季節に合わせた食事を楽しんでいただきました。お誕生日の方にリクエスト料理を提供するなどの工夫を行いました。

④ 介護度別利用状況（R5 年 4 月～R6 年 1 月） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要介護1	88	95	81	74	79	80	82	84	94	85			842	702	140
要介護2	23	31	38	53	54	52	54	59	58	54			476	550	△ 74
要介護3	52	38	36	33	27	18	21	19	19	5			268	693	△ 425
要介護4	30	24	21	16	25	23	20	7	4	8			178	312	△ 134
要介護5	0	0	0	1	4	0	0	0	0	10			15	159	△ 144
総数	193	188	176	177	189	173	177	169	175	162			1,779	2,416	△ 637
実施日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24			259	309	△ 50
平均利用者数/日	7.7	7.0	6.8	6.8	7.0	6.7	6.8	6.5	6.7	6.8			6.9	7.8	△ 1.0

2 職員研修

法人内部研修・ケアプラザ内部研修

研修名	参加延べ人数
虐待防止・人権研修	52 名
認知症研修	84 名
感染症研修	64 名
介助方法	25 名

外部研修

研修名	参加延べ人数
各職種専門研修	107 名

3 苦情

(1) 苦情受付件数 0 件（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

令和5年度 柳町地域ケアプラザ 事業報告

概説

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、地域では従来通りの活動が行われるようになったことで、ケアプラザ職員は積極的に地域に出向き、信頼関係づくりに努めました。

介護予防の必要性を周知するため、フレイル予防（虚弱予防）や介護予防講座等を開催し、また認知症の理解啓発のため、町内会や大学、保育園等にて認知症について学ぶ講座、認知症サポーター養成講座を開催し、地域の多くの皆様に参加いただきました。

4年ぶりに「柳町ふれあい感謝祭」を開催し、六浦中学校吹奏楽部の演奏会や野菜販売・自主製品販売等を行い、来客者数約150名と多くの皆様に来館いただきました。改めてケアプラザを知っていただく機会となりました。

デイサービスでは、季節感をふんだんに取り入れたイベントや個別活動等、楽しめるプログラムを企画・実施しました。延利用者数は、通所介護9,485人、認知症通所介護2,651人、前年度比で利用者数減（通所△60人、認知△190人）となっています。

1 重点項目の実施状況

（1）地域活動交流事業

新型コロナウイルス感染症は5類に移行しました。館内においてマスク着用については継続して協力をお願いをしながら、登録団体に向けて4年ぶりに対面による団体交流会を開催しました。普段顔を合わせることのない団体同士でお互いの活動を知る良い機会となりました。

自主事業の障害児者余暇支援やおしゃべりカフェでは、飲食の時間を徐々に再開し、参加者の皆様に楽しく過ごしていただきました。

自主事業開催数	96回（前年度比1回増）	延べ886人（前年度比31人減）
貸館状況	1,038件（前年度比134件増）	延べ5,760人（前年度比1,114人増）

（2）地域包括支援センター事業

新型コロナウイルス感染症が5類となり、積極的に地域に出向いて、介護予防講座の開催、エンディングノートの配布等を行いました。また、地域活動交流、生活支援コーディネーターと連携し、レコード鑑賞会等の地域活動の後方支援や地域活動の再開に関して意見交換・情報共有等を行いました。

相談業務では、令和5年3月に担当エリアが変更しましたが、大きな混乱はなく、新しく担当となったエリアからの相談も多く見られました。介護保険の申請、病院、民生委員・児童委員、親族からの相談、がん末期、成年後見等、多岐にわたる相談があり、関係機関と連携し支援しました。

【総合相談件数】

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和5年度	1,052	254	112	1,418
令和4年度	968	226	110	1,304
増減	84	28	2	114

(3) 生活支援体制整備事業

積極的に地域に出向き、既存の活動団体の後方支援やヨコハマ地域活動・サービス検索ナビの更新作業を通して関係構築に努めました。また、六浦ボランティアネットワークへの参加やボランティア団体交流会の開催、交流の機会を通して情報収集に努めました。

令和5年3月の担当エリアの変更に伴い、乙舩町・野島町の高齢者の方々が所持している見守りホルダーについては、泥亀地域ケアプラザから引継ぎ、「なぎちゃんホルダー」と改称し更新作業を行いました。また、新規希望者に対し新規登録会を開催し、ご利用者からホルダーを持つことができ安心したとの声をお伺いしました。

乙舩町・野島町で中止となっていた移動販売については、改めて地域のニーズを把握し、移動販売導入に向け、多機関と協働で地域住民の支援を行いました。導入した移動販売の継続のため、令和6年度も伴走支援を行っていきます。

(4) 居宅介護支援事業

職員のスキルアップのため、オンライン研修や外部研修、主任ケアマネジャー部会主催の事例検討会、他法人との合同研修に積極的に参加しました。また、今年度より釜利谷地域ケアプラザ居宅介護支援との合同会議を開始し、お互いの情報共有や介護保険改定の勉強会等を行っています。

居宅介護支援は継続して訪問・モニタリングを行い、ご利用者やご家族の思い・希望に寄り添った支援を行いました。

【居宅介護支援事業の状況】

●一人当たりの担当件数の上限は介護・予防合わせて 39件 ●1 か月あたりの上限件数は 148件

介護ケアプラン作成数（要介護1～5）	1,190件（前年度比 14件）
介護予防ケアプラン作成数（要支援1～2）	352件（前年度比 △46件）

(5) デイサービス事業（通所介護事業・認知症対応型通所介護事業）

安心してデイサービスの利用ができるよう、感染防止対策の徹底や事故防止対策に努めました。また、季節の行事を多く取り入れ、充実したサービスを提供しました。

事業が安定的に運営できるよう、人員を確保するとともに、計画的に研修を行い職員育成に力を入れ、質の高い介護サービスを提供しました。

単位：人

	年度	延利用者数	平均利用者/日	定員/日
通所介護事業	令和5年度	9,485	26.3	30
	令和4年度	9,545	26.6	
	増減	△60	△0.2	
認知症対応型通所介護	令和5年度	2,651	7.4	10
	令和4年度	2,841	7.9	
	増減	△190	△0.5	

(6) 事業継続計画（BCP）の策定

すみなす会 BCP 策定検討会にて、法人事務局、各事業所の動き等の確認共有があり、参集基準や発動基準等について、ケアプラザ独自の書式から全体に合わせた書式へ更新しました。また、感染症に関する BCP は、新型コロナウイルス感染症のマニュアルを参考に更新作業を行っています。

2 令和5年度 柳町地域ケアプラザ 事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

(単位：円)

	令和5年度	令和4年度	増減	備考
介護保険事業収益	209,486,382	206,329,914	3,156,468	生活支援体制整備事業管理費等
経常経費寄付金収益	60,000	50,000	10,000	ボランティア様3万、後援会様3万
サービス活動収益計(1)	209,546,382	206,379,914	3,166,468	
人件費	159,333,889	158,113,717	1,220,172	生活支援Co入職
事業費	22,745,411	20,705,963	2,039,448	送迎車リース料、リフト代高騰、階段昇降機リ料等
事務費	28,336,311	29,176,919	△ 840,608	複合機交換、求人募集広告費等
減価償却費	8,653,966	8,717,336	△ 63,370	
国庫補助金取崩額	△ 6,358,523	△ 6,358,523	0	
サービス活動費用計(2)	212,711,054	210,355,412	2,355,642	
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△ 3,164,672	△ 3,975,498	810,826	
サービス活動外収益計(4)	2,441,081	2,897,750	△ 456,669	
サービス活動外費用計(5)	689,160	649,040	40,120	
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	1,751,921	2,248,710	△ 496,789	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 1,412,751	△ 1,726,788	314,037	

経常増減差額が△1,412 千円でしたが、認知症デイサービスかがやきの利用者減による減収が影響しました。引き続きデイサービスの改善を目指し利用者増に努めます。

＜資料編＞

1 事業別報告

(1) 地域活動交流事業

4年ぶりに団体交流会を開催し、団体同士が互いの活動を知るよい機会となりました。障害児者余暇支援「おひさま広場」では、工作やゲーム、動画鑑賞の他、「軽食作り」を試みました。コロナ下で中止していた「軽食作り」は、久しぶりの調理活動となり、皆様の笑顔が多く見られました。各活動後にはジュースやお茶菓子を賞味しながら、次月やりたいこと等を話し合い、次の活動に活かしていくよう努めました。

夏季期間には、講師をお招きし、小学生の親子を対象に「お金の教室」の講座を開催しました。お金の使い方について分かりやすく説明いただき、今後お小遣い帳を活用したい等の親御様からの声が出ていました。また、レゴブロックで自由に遊べる「レゴパーク」を実施し、親子や小学生同士の利用がありました。友達同士でお喋りしながらブ

ロック作りを楽しんだり、暑さしのぎの場として親子で部屋を活用いただきました。地域活動の支援では、六浦東地区の「もりのお茶の間リーダー会議」への出席、六浦地区の広報紙「社協むつうら」の編集の後方支援等を行いました。

(2) 地域包括支援センター事業

令和5年3月に担当エリアが変更となり、新たに担当となった野島町や乙舩町等の相談件数も増加しています。

新型コロナウイルス感染症が5類へ引き下げとなり、地域活動の再開状況に合わせながら、事業を展開しました。

介護予防講座は、地域からの要望に応えながら各町内会館に出向き開催しました。介護者のつとめでは、介護と仕事の両立について講座を開催しました。事例をもとに講師の先生のお話を伺った後、参加者同士で分かち合う場を持ち、自分の時間も大事にしていきたいこと等、確認共有しました。

地域ケア会議は、「精神疾患や認知症の方への支援」をテーマとして開催しました。包括レベルの地域ケア会議では、認知症の方が地域で安心した生活が送れるよう必要な資源（つながる場、居場所等）について話し合いました。

また、関東学院大学教授による講演会を行い、お互いにSOSを出すことができるまちづくりについて、学びと分かち合いの時を持つことができました。

① 総合相談支援事業（電話・来客の主な内容）

【総合相談件数】

	電話・その他	来所	訪問	合計
令和5年度	1,052	254	112	1,418
令和4年度	968	226	110	1,304
増減	84	28	2	114

【総合相談内容の内訳（電話・来所の主な内容）】

	令和5年度	令和4年度		令和5年度	令和4年度
介護保険	828	758	介護（※認知症以外）	81	134
介護予防事業	3	5	医療（※認知症以外）	118	111
行政サービス	7	13	施設入所・入院	99	67
インフォーマルサービス	74	75	日常生活課題	250	258
その他制度・サービス等	18	26	苦情	0	6
認知症（BPSD）	121	136	成年後見制度・消費者保護	79	30
認知症（医療）	46	22	虐待	9	9
			その他	476	397
			合計	2,209	2,047

（相談内容が複数にわたる場合があり、内訳数は相談・訪問件数を上回る）

② 権利擁護事業

ア 権利擁護に関する個別相談 88件（延べ件数）

- ・成年後見制度に関する相談（親族申立や任意後見、相続に関するもの）
- ・虐待に関する相談（身体的虐待、経済的虐待、虐待疑いを含む）

イ その他、権利擁護事業に関する業務

- ・金沢区成年後見サポートネットワーク事業参加（年4回）
- ・成年後見申立の相談を受け、必要に応じて申し立てについて情報提供と関係機関との連携
- ・虐待防止従事者研修に参加、スキルアップ
- ・虐待に係る相談（疑い含む）について、区役所等と連携対応
- ・エンディングノートの説明、配布
- ・介護者が孤立することを防ぐため、介護者のつどいを実施

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ア 担当エリア内のケアマネジャーからの相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	6	13	15	11	10	11	12	23	7	22	15	12	157
令和4年度	16	16	12	12	9	9	10	15	12	16	20	19	166
増△減	△10	△3	3	△1	1	2	2	8	△5	6	△5	△7	△9

・必要時エリア内の居宅介護支援事業所を訪問し、区役所からの最新情報の提供、ケアプラン作成、個別相談等行っている。

イ 事業等取り組みについて

《研修関係》

- ・金沢区主任ケアマネジャー部会南部地区共催：ケアマネジャー支援サロン（年2回）
- ・金沢区主任ケアマネジャー部会共催：事例検討会（年2回）

- ・金沢区主任ケアマネジャー部会・自立支援協議会・計画事業所連絡会共催：事例検討会（年1回）
- ・横浜市主催：金沢区役所、金沢区主任ケアマネジャー部会、保健師部会、社会福祉士部会共催：介護予防従事者研修開催（年1回）
- ・金沢区主任ケアマネジャー部会共催：新任ケアマネジャー研修（3日間を年1回）
- ・金沢区主任ケアマネジャー部会共催：事例検討会進行の技術研修（2日間を年1回）
- ・金沢区役所、三師会、病院、地域包括支援センター、金沢ケアマネ倶楽部、訪問看護管理者会、リハビリテーション連絡会、訪問介護連絡会、通所介護連絡会共催：医療福祉合同研修（年1回）→諸事情により休止

《その他》

- ・金沢区主任ケアマネジャー部会、保健師部会、社会福祉士部会、病院の相談員と情報交換 →体制再構築のため、情報シート更新のみ実施
- ・事業所の特色を理解し、中立公正な立場でケアマネジャーを選択できるように、居宅介護支援事業所情報シートを更新。
- ・ケアマネジャーからの相談：面接や電話で状況を確認し、必要に応じて同行訪問し課題の早期解決に取り組み、地域のケアマネジャーのバーンアウトを予防出来るように支援。
- ・医療機関、郵便局等訪問し、相談しやすい環境作りを行う。

ウ サービス担当者会議・カンファレンス支援

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
令和4年度	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	1	5
増△減	0	0	△1	0	0	1	1	0	△1	0	△1	△1	△2

- ・処遇困難事例ケースに関しては、区役所・担当ケアマネジャーと協働で行う

④ 介護予防支援・日常生活支援総合事業

民生委員や町内会役員など地域支援者と関係性を築くことを重視しながら、地域の状況に合わせてフレイル予防（虚弱予防）を意識した講座を開催しました。金沢区オリジナル体操のDVDを地域の中で活用し、周知活動を行いました。

エリア変更に伴い、担当地域の連合町内会が増え、各町内の自主活動の後方支援を定期的に行いました。

ア 介護予防普及啓発事業 ※以下、（ ）は開催日

- | | |
|---------------------------|-----------|
| ・ロコモ予防講座（11/2、11/29、2/14） | 参加者 延べ38名 |
| ・栄養と運動講座（5/18） | 参加者 14名 |
| ・金沢区オリジナル体操講演会（9/25） | 参加者 9名 |

- ・口腔ケア講座（8/31） 参加者 18名
- ・六浦東地区「健康チェック&体力測定」（11/15） 参加者 38名
- ・柳町町内会 「敬老のつどい いつまでも元気に」（9/30） 参加者 26名
- ・瀬戸町内会館 「いきいき暮らそうシルバー世代」（2/19） 参加者 14名
- ・六浦地区 認知症講演会 （12/2） 参加者 46名
- ・乙舩町内会館 「介護予防ミニ講座」（6/9） 参加者 18名

イ 地域介護予防活動支援事業

- ・元気づくりステーション
「柳町 in コグニ」「お元気づくりステーションむつうら」に対し後方支援
コグニサイズ体験会&フォローアップ講座（2/2） 参加者 21名
- ・地域活動支援
老人会や活動グループに対し、必要に応じ情報提供やアドバイスを行いました。
乙舩健康サポート教室での健康講話 全8回 参加者 83名
野島 de コグニサイズでの関係づくりや広報活動
- ・関東学院大学教授による講演会「あなたの気づきがお近所パワー」（3/5）
参加者 18名

⑤ 指定介護予防支援事業

高齢者が、要支援・要介護状態になったり重度化することを、できるだけ防ぐために、自身の力を活かした自立に向けた支援を行うよう努めました。エリア変更に伴い、各地域ケアプラザや、委託先の居宅介護支援事業所との引継ぎがありましたが、大きな混乱なく介護予防ケアプラン等に関する対応を継続できています。

ア 包括支援センター担当件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	46	47	49	48	51	50	51	50	50	50	47	48	587
令和4年度	33	34	32	32	32	33	35	38	38	37	37	45	426
増△減	13	13	17	16	19	17	16	12	12	13	10	3	161

※包括支援センター担当件数…包括支援センターで作成したケアプラン件数

イ 委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	131	132	130	133	131	132	132	130	129	129	123	117	1,549
令和4年度	132	134	135	131	125	122	120	121	124	121	118	124	1,507
増△減	△1	△2	△5	2	6	10	12	9	5	8	5	△7	42

※包括支援センター以外の居宅介護支援事業所に委託契約を行い、介護支援専門員が作成したケアプラン件数

⑥ 地域ケア会議

今年度は個別レベルで2回、包括レベルで1回開催しました。

個別レベルでは、精神疾患があり様々な要望を周囲へ訴える方について障害から介護保険へ移行を見据えた支援の検討やアルコール依存で認知症の言動がみられるようになり周囲が困っているという、社会的地位のある方に対し、本人の尊厳を守ることを視野に入れた支援について考えました。また、包括レベルでは認知症であっても自分らしく暮らし続けていけるまちであるために必要なことについて、行政、病院、ケアマネジャー、民生委員・児童委員、デイサービスや施設関係者で考え、社会資源の大切さ、まちと言う環境を作るには地域全体の力が大切なことを参加者で認識できる機会となりました。

(3) 生活支援体制整備事業

① 地域との関係性の構築

六浦連合町内会で開催されているレコード鑑賞会について、他部門職員と共に後方支援を行いました。また積極的に地域に出向き、関係づくりに努めました。

② 地域活動団体のネットワーク構築

毎月1回、六浦地域ケアプラザで開催されている「六浦ボランティアネットワーク」の定例会に参加しました。6月には2回目となる「ボランティア団体交流会」が開催され、金沢区内のボランティア間で情報交換・情報共有等しました。

③ 交流の居場所作り

ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビの更新作業を通して、各団体との関係づくりを行うとともに、地域活動や居場所の情報整理に努めました。

④ その他

担当エリア変更に伴い、泥亀地域ケアプラザから引き継いだ「ぼたんちゃんフォルダー」を「なぎちゃんフォルダー」と名称変更し、希望者には新規登録を行いました。

乙舩町・野島町では、移動販売「ユニクマ号」が休止中のため、買い物支援のニーズ充足に向けて協議体を作り、地域、関係機関と協議を重ね、他業者による移動販売導入につながりました。

(4) 居宅介護支援事業

「訪問・モニタリング・サービス担当者会議」等のケアマネジメントプロセスを継続しています。ケースの内容では「認知症独居」「老々介護で共に認知機能が低下」等、困難なケースが多くなっています。特に今年度は生活困窮者への支援でそれぞれのケアマネが対応に努めてきました。

今年度は6月から8月にかけて、コロナ感染のために空きベッドを確保していた特別

養護老人ホームが一斉に入居を進め、施設入所での終了者が多くなった時期がありました。引き続き、ひとり一人の利用者に寄り添い、自分の人生を全うできる支援を継続して行っています。

ア 居宅事業ケアプラン作成数

介護ケアプラン作成数（要介護1～要介護5認定の方）

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	102	105	94	93	94	91	96	105	105	101	101	103	1,190
令和4年度	88	94	95	95	94	98	104	101	103	101	101	102	1,176
増減	14	11	△1	△2	0	△7	△8	4	2	0	0	1	14

介護予防ケアプラン作成数（要支援1～要支援2認定の方）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	31	32	33	31	29	29	30	30	29	27	24	27	352
令和4年度	32	34	34	34	33	32	33	34	32	34	33	33	398
増減	△1	△2	△1	△3	△4	△3	△3	△4	△3	△7	△9	△6	△46

※常勤換算でケアマネジャー1人当たりの件数限度は介護・予防合わせて39件

※現在の常勤換算では、1か月あたり148件が上限

※特定事業所加算Ⅲ（1件当たり3,336円）は介護ケアプランのみ算定

イ 契約者数（令和5年3月31日現在）

	契約者数		内新規契約者数		終了者数	
	介護	予防	介護	予防	介護	予防
令和5年度	106	27	45	7	40	9
令和4年度	107	34	46	14	33	6
前年度比	△1	△7	△1	△7	7	3

ウ 金沢区等委託契約による介護認定調査件数（区との契約数は年間130件）

	令和5年度	令和4年度	前年度比
件数	48	68	△20
含区外件数	3	2	1

(5) デイサービス事業（通所介護事業、認知症対応型通所介護事業）

① 通所介護事業

利用者が楽しんでいただける活動や季節のイベントを継続して実施し、新たなイベントも企画実施しました。年間の延利用者数は、7月から10月にかけて入所や入院等により減少傾向にありましたが、1月から3月では新規利用の確保に努め、登録者増となり、年間では昨年度比60名の減でした。

開館日数：360日

＜サービス内容＞

ア 季節ごとの行事

既存の行事の他、新たな夏の行事として「ところてん突き」を企画・実施しました。

イベント時は満員の日も多く大盛況でした。

春：送迎時に車内からの花見、じゃがバター大会、新茶の会、横浜の日（焼売弁当）

夏：すいか割り、かき氷、アイスクリーム、ところてん突き

秋：敬老会、さんま祭り、焼き芋大会

冬：クリスマス会（クリスマスメニューの提供）、芋煮会

※その他

地域の町おこしイベントとして、サプライズで地域の和洋菓子店などから、お茶菓子を入れ、サプライズイベントとして継続して実施しました。

イ 個別性のあるグループ活動

既存のサークル（書道、川柳、園芸、カラオケ）、教室（珈琲、体操、絵手紙）、趣味活動（麻雀、将棋、制作、歩行訓練）を定期的の実施し利用者が意欲をもって活動に参加できるように取り組みました。

その他、希望者に対し施設周囲での歩行訓練を行い、個別に回数を分け安全に配慮して実施しました。今年度は新たな活動として大人のパズルを導入し空き時間に大勢のご利用者が挑戦し楽しい時間を過ごす事ができました。

ウ 保育園児・小中学校との交流

今年度は感染症対策をとりながら保育園児のお遊戯を披露していただく機会をつくり交流を楽しんでいただくことができました。

エ 食事

「さつま芋の味噌汁が食べたい」と利用者からの要望を受け、委託業者に相談し直ぐにメニューに反映することができ、利用者から好評いただきました。

味付け、量、色合いなどについても日々評価を行い、委託業者と話し合い、毎日のお食事を美味しく召し上がっていただけるように努めました。

月一回、各都道府県の郷土料理の提供や特別感のあるメニューも多く取り入れ、定期利用以外に追加での利用希望もあり受け入れることができました。

オ 避難訓練・非常災害対策訓練

年に2回の施設内での避難訓練（大地震・水害、火災）初期消火訓練の他、地域の避難訓練に参加し、連携の強化に努めました。

非常災害対策に備え、アプリを利用した職員への連絡訓練を数回に分けて実施した

カ 実習生の受け入れ

近隣中学校の個別支援級の生徒の施設実習や、近隣大学の学部生の実習を受け入れました。

通所介護事業・介護度別利用状況（令和５年４月～令和６年３月）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援１	37	32	33	36	33	30	28	31	26	17	19	27	349	484	△ 135
要支援２	114	118	97	96	89	95	88	99	99	95	92	96	1,178	1,318	△ 140
要介護１	141	144	158	169	166	187	176	190	183	206	195	221	2,136	2,410	△ 274
要介護２	252	263	220	217	226	245	237	252	228	248	278	302	2,968	2,982	△ 14
要介護３	178	195	169	163	164	143	125	116	113	121	135	162	1,784	1,620	164
要介護４	87	85	106	107	96	66	88	81	79	73	83	82	1,033	506	527
要介護５	5	4	0	3	0	0	0	0	0	0	12	13	37	225	△ 188
総数	814	841	783	791	774	766	742	769	728	760	814	903	9,485	9,545	△ 60
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	29	31	360	359	1
平均利用者数/日	27.1	27.1	26.1	25.5	25.0	25.5	23.9	25.6	26.0	27.1	28.1	29.1	26.3	26.6	△ 0.2

⑦ 認知症対応型通所介護 かがやき

利用者全員で体操などを行い、また個人に合わせたレクリエーションを進めることで、かがやきの特徴を生かした活動に繋がりました。

長く利用してくださる方が多くなり、家族の負担軽減のため、利用日数を増やすことで、１人の利用回数が増えています。

開館日数：360日

<サービス内容>

ア 季節ごとのイベント ※状況により変更あり

通所介護と連携し、炭火焼きによるさんま焼きやじゃがバター、屋台風のかき氷屋などで季節を感じていただきました。

イ 身体機能の維持向上のため、運動プログラムの展開（体操・屋外歩行訓練等）

屋外歩行訓練で、柳町公園に行き、花壇の花や木の実の観察を楽しんでいただきました。

ウ 様々な活動

利用者が自宅に持ち帰るカレンダー制作では、毎月個性豊かな作品が出来上がり、家族にも好評をいただいています。

コミュニティセンターより借用して紙芝居を職員が声を変えて読むことで、集中力や子どもの頃を思い出す回想法にも繋がっています。

エ 昼食 季節を感じられる献立・月１回各地方の郷土料理

配膳時に料理に興味を持つような説明や声掛けをして楽しんで頂きました。

認知症対応型通所介護事業・介護度別利用状況（令和5年4月～令和6年3月） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	110	110	100	92	88	65	73	62	50	45	44	31	870	1,187	△317
要介護2	38	38	42	35	33	31	36	69	41	41	25	47	476	466	10
要介護3	55	47	45	55	55	78	81	67	90	73	79	61	786	590	196
要介護4	14	19	29	34	40	36	36	44	56	56	47	83	494	452	42
要介護5	15	8	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	25	146	△121
総数	232	222	216	216	216	210	226	242	239	215	195	222	2,651	2,841	△190
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	29	31	360	359	1
平均利用者数/日	7.8	7.9	8.1	7.8	8.1	8.1	8.0	7.7	8.4	7.6	7.7	8.0	7.4	7.9	△0.5

2 職員研修（人材育成）

内部研修（法人・柳町地域ケアプラザ）

研修名	参加人数
法令順守の理解	28名
職員の健康管理	20名
認知症実践者研修（報告会）・認知症の理解	27名
身体拘束	33名
個人情報保護研修	48名
安全運転講習会	11名
冬場の感染症対策について	44名
人権侵害を起こさないために～無意識の偏見を考える～	56名
AED研修	40名
事故発生予防（連絡帳の渡し方の確認等）	29名

外部研修

研修名	参加人数
各種専門研修	46名

3 苦情

（1）苦情受付件数 1件（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(別紙) 地域活動交流事業 実施状況

① 支えあい連絡会の開催

	開催数	参加人数	テーマ・内容詳細等
令和5年度	0	0	
令和4年度	0	0	

② 広報紙及びチラシの発行

	広報紙	チラシ	配布先
令和5年度	4回	33回	来館者・各町内会・関連機関に配布
令和4年度	4回	33回	

③ 貸館状況

(単位：件)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和5 合計	令和4 合計
多 目 的	午 前	20	21	21	22	22	18	20	21	21	21	16	18	553	545
	午後1	12	16	17	18	17	15	18	19	14	13	17	16		
	午後2	3	9	10	12	12	8	10	11	5	5	9	8		
	夜 間	2	3	2	3	3	4	1	0	0	0	0	0		
調 理 室	午 前	2	3	2	2	2	2	2	3	3	2	3	2	82	67
	午後1	3	4	4	2	2	3	3	5	4	3	4	3		
	午後2	1	1	2	0	1	1	1	2	1	1	2	1		
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ボ ラ	午 前	6	7	11	6	14	3	13	9	12	9	11	8	325	254
	午後1	13	10	15	14	15	12	10	10	7	9	11	13		
	午後2	7	5	6	8	9	7	6	7	4	6	5	7		
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
地 域	午 前	1	1	1	1	5	2	1	4	3	1	2	2	78	38
	午後1	4	2	2	2	4	3	4	5	4	4	3	2		
	午後2	2	0	1	1	0	1	2	1	2	2	1	2		
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合 計		76	82	94	91	106	79	91	97	80	76	84	82	1,038	904

稼働率

(単位：％)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和5 合計	令和4 合計
多 目 的	午 前	69	70	72	73	73	62	66	72	77	77	57	60	69	93
	午後1	41	53	58	60	56	51	60	65	51	48	60	53	55	75
	午後2	10	30	34	40	40	27	33	37	18	18	32	26	29	42
	夜 間	28	42	28	12	12	17	4	0	0	0	0	0	12	14
調 理 室	午 前	6	10	6	6	6	6	6	10	11	7	10	6	8	10
	午後1	10	13	13	6	6	10	10	17	14	11	14	10	11	13
	午後2	3	3	6	0	3	3	3	6	3	3	7	3	4	5
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボ ラ	午 前	20	23	37	20	46	10	43	31	44	33	39	26	31	36
	午後1	44	33	51	46	50	41	33	34	25	33	39	43	39	45
	午後2	24	16	20	26	30	24	20	24	14	22	17	23	22	24
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地 域	午 前	3	3	3	3	16	6	3	13	11	3	7	6	6	4
	午後1	13	6	6	6	13	10	13	17	14	14	10	6	11	10
	午後2	6	0	3	3	0	3	6	3	7	7	3	6	4	2
	夜 間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 多目的：多目的ホール ボラ：ボランティアルーム 地域：地域ケアルーム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和5 合計	令和4 合計
利用人数(単位：人)	413	379	526	503	515	431	536	664	475	405	474	439	5,760	4,646

④ 自主事業実施状況（令和5年4月～令和6年3月）

	事業年度	開催数	延参加者数	内 容
高齢者支援	令和5	12	172	フラワーアレンジメント
	令和4	12	194	フラワーアレンジメント
	前年比	0	△ 22	
子育て支援	令和5	12	120	あかちゃんといっしょ
	令和4	12	142	あかちゃんといっしょ
	前年比	0	△ 22	
障がい児者支援	令和5	12	57	おひさま広場
	令和4	12	67	おひさま広場
	前年比	0	△ 10	
小学生向け	令和5	13	59	夏休みこども企画、小学生お菓子作り、レゴパーク
	令和4	9	77	夏休みこども企画、
	前年比	4	△ 18	
多世代交流 （小学生・高齢者）	令和5	0	0	
	令和4	0	0	
	前年比	0	0	
地域交流	令和5	31	218	金沢区の歴史を学ぶ会、小物作り、お正月飾り、干支小物づくり、オカリナ教室等
	令和4	22	154	金沢区の歴史を学ぶ会、小物作り、布ぞうり講座、お正月飾り、干支小物づくり等
	前年比	9	64	
健康作り	令和5	1	7	てくてく金沢
	令和4	14	107	てくてく金沢
	前年比	△ 13	△ 100	
福祉チャレンジ事業 ・車椅子介助体験 ・視覚障害者誘導介助体験 ・手話体験 ・点字体験	令和5	0	0	
	令和4	0	0	
	前年比	0	0	
福祉体験授業	令和5	0	0	
	令和4	0	0	
	前年比	0	0	
福祉保健、健康、暮らし	令和5	0	0	
	令和4	0	0	
	前年比	0	0	
ボランティア育成	令和5	3	104	
	令和4	2	59	大学生対象ボランティア育成講座
	前年比	1	45	
出張講座等	令和5	0	0	
	令和4	0	0	
	前年比	0	0	
サロン	令和5	12	149	
	令和4	12	117	おしゃべりカフェ
	前年比	0	32	
合 計	令和5	96	886	
	令和4	95	917	
	前年比	1	△ 31	

※共催及び後援事業を含む

法人単位資金収支計算書
(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	438,841,994	425,807,628	13,034,366	
	就労支援事業収入	21,700,000	21,195,856	504,144	
	障害福祉サービス等事業収入	1,487,723,320	1,464,223,339	23,499,981	
	借入金利息補助金収入	154,560	154,560	0	
	経常経費寄附金収入	2,450,000	2,313,000	137,000	
	受取利息配当金収入	61,000	6,729	54,271	
	その他の収入	25,800,000	24,805,403	994,597	
	事業活動収入計(1)	1,976,730,874	1,938,506,515	38,224,359	
	支出				
事業活動による収支	人件費支出	1,466,602,360	1,468,404,549	△ 1,802,189	
	事業費支出	255,253,600	249,166,173	6,087,427	
	事務費支出	216,504,900	208,412,678	8,092,222	
	就労支援事業支出	20,200,000	19,546,325	653,675	
	支払利息支出	154,560	154,560	0	
	その他の支出	8,759,000	6,695,100	2,063,900	
	事業活動支出計(2)	1,967,474,420	1,952,379,385	15,095,035	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	9,256,454	△ 13,872,870	23,129,324	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	5,236,000	5,236,000	0	
	施設整備等寄附金収入	334,000	333,950	50	
	固定資産売却収入	1,100,000	1,100,000	0	
	施設整備等収入計(4)	6,670,000	6,669,950	50	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	5,780,000	5,780,000	0	
	固定資産取得支出	11,751,000	11,144,090	606,910	
	施設整備等支出計(5)	17,531,000	16,924,090	606,910	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 10,861,000	△ 10,254,140	△ 606,860	
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	4,124,000	5,136,240	△ 1,012,240	
	その他の活動による収入		274,726	△ 274,726	
	その他の活動収入計(7)	4,124,000	5,410,966	△ 1,286,966	
	支出				
	積立資産支出	13,289,720	12,917,745	371,975	
	その他の活動による支出		400,000	△ 400,000	
	その他の活動支出計(8)	13,289,720	13,317,745	△ 28,025	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 9,165,720	△ 7,906,779	△ 1,258,941	
	予備費支出(10)		—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 10,770,266	△ 32,033,789	21,263,523	

前期末支払資金残高(12)	609,256,779	609,256,779	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	598,486,513	577,222,990	21,263,523	

法人単位事業活動計算書
(自) 令和 5 年 4 月 1 日 (至) 令和 6 年 3 月 31 日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	425,807,628	439,010,344	△ 13,202,716
	就労支援事業収益	21,195,856	16,322,371	4,873,485
	障害福祉サービス等事業収益	1,464,223,339	1,379,253,201	84,970,138
	経常経費寄附金収益	2,313,000	3,211,806	△ 898,806
	サービス活動収益計(1)	1,913,539,823	1,837,797,722	75,742,101
	費用			
	人件費	1,463,668,309	1,384,989,725	78,678,584
	事業費	249,166,173	246,643,901	2,522,272
	事務費	208,412,678	201,557,002	6,855,676
サービス活動外増減の部	就労支援事業費用	20,948,298	16,578,434	4,369,864
	減価償却費	67,725,910	66,768,873	957,037
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 47,287,042	△ 45,810,071	△ 1,476,971
	サービス活動費用計(2)	1,962,634,326	1,870,727,864	91,906,462
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 49,094,503	△ 32,930,142	△ 16,164,361
	収益			
	借入金利息補助金収益	154,560	176,640	△ 22,080
	受取利息配当金収益	6,729	4,860	1,869
	その他のサービス活動外収益	24,805,403	24,983,600	△ 178,197
	サービス活動外収益計(4)	24,966,692	25,165,100	△ 198,408
特別増減の部	費用			
	支払利息	154,560	176,640	△ 22,080
	その他のサービス活動外費用	6,695,100	6,644,110	50,990
	サービス活動外費用計(5)	6,849,660	6,820,750	28,910
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	18,117,032	18,344,350	△ 227,318
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 30,977,471	△ 14,585,792	△ 16,391,679
	収益			
	施設整備等補助金収益	5,236,000	7,016,318	△ 1,780,318
	施設整備等寄附金収益	333,950		333,950
	特別収益計(8)	5,569,950	7,016,318	△ 1,446,368
繰越活動増減差額の部	費用			
	固定資産売却損・処分損	2,758,736		2,758,736
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△ 1,765,767		△ 1,765,767
	国庫補助金等特別積立金積立額	4,836,000	7,016,318	△ 2,180,318
	特別費用計(9)	5,828,969	7,016,318	△ 1,187,349
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 259,019	0	△ 259,019
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 31,236,490	△ 14,585,792	△ 16,650,698
	前期繰越活動増減差額(12)	804,789,395	830,799,046	△ 26,009,651
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	773,552,905	816,213,254	△ 42,660,349
	基本金取崩額(14)			
繰越活動増減差額の部	その他の積立金取崩額(15)	400,000	10,664,401	△ 10,264,401
	その他の積立金積立額(16)	12,917,745	22,088,260	△ 9,170,515
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	761,035,160	804,789,395	△ 43,754,235

法人単位貸借対照表
令和 6年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	675,596,568	707,830,038	△ 32,233,470	流動負債	103,311,010	102,108,718	1,202,292
現金預金	374,794,711	382,134,058	△ 7,339,347	事業未払金	67,138,889	79,167,955	△ 12,029,066
事業未収金	279,613,035	297,777,464	△ 18,164,429	1年以内返済予定設備資金借入金	5,780,000	5,780,000	0
未収金	699,594	512,668	186,926	預り金	37,051	341	36,710
未収補助金	0	6,172,935	△ 6,172,935	職員預り金	21,660,568	10,984,861	10,675,707
貯蔵品	1,051,984	816,587	235,397	前受金	2,892,988	2,643,890	249,098
商品・製品	396,233	1,572,451	△ 1,176,218	仮受金	5,801,514	3,531,671	2,269,843
原材料	446,335	672,090	△ 225,755				
立替金	1,403,608	1,670,050	△ 266,442				
前払費用	17,161,068	16,471,735	689,333				
その他の流動資産	30,000	30,000	0				
固定資産	1,132,099,395	1,183,400,597	△ 51,301,202	固定負債	133,122,265	129,888,185	3,234,080
基本財産	916,342,098	970,349,730	△ 54,007,632	設備資金借入金	16,900,000	22,680,000	△ 5,780,000
建物	916,342,098	970,349,730	△ 54,007,632	退職給付引当金	116,222,265	107,208,185	9,014,080
その他の固定資産	215,757,297	213,050,867	2,706,430	負債の部合計	236,433,275	231,996,903	4,436,372
建物	35,937,543	40,895,265	△ 4,957,722	純資産の部			
構築物	10,807,885	4,578,525	6,229,360	基本金	58,506,000	58,506,000	0
車輛運搬具	2,437,307	4,094,443	△ 1,657,136	第1号基本金	58,506,000	58,506,000	0
器具及び備品	16,294,856	19,978,179	△ 3,683,323	国庫補助金等特別積立金	741,721,528	785,938,337	△ 44,216,809
権利	20,828,585	22,579,834	△ 1,751,249	その他の積立金	10,000,000	10,000,000	0
ソフトウェア	1,816,743	2,429,597	△ 612,854	人材育成積立金	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	116,222,265	107,208,185	9,014,080	次期繰越活動増減差額	761,035,160	804,789,395	△ 43,754,235
人材育成積立資産	10,000,000	10,000,000	0	(うち当期活動増減差額)	△ 31,236,490	△ 14,585,792	△ 16,650,698
長期前払費用	1,412,113	1,286,839	125,274	純資産の部合計	1,571,262,688	1,659,233,732	△ 87,971,044
資産の部合計	1,807,695,963	1,891,230,635	△ 83,534,672	負債及び純資産の部合計	1,807,695,963	1,891,230,635	△ 83,534,672